		10.11			` •	- 1			— -1 3	J 73	3 >17-110		/1 \	
1	事業の)位置付	けと	既要							整理番号		70	
1事務	8事業名 第	新里支所。	人権問題	夏対策	事業					担当	部·局 課·所·室 係(担当)	地 域 新里 庶 發	振 興 整 支所市民 ・ 税	A 備 局 生活課 務 係
2 予	算科目 :	3 款	1	項	1	B	6 根拠法令等(主なも	5の)		7 9	第六次総合計	画での位置付け	ナ (基本計画	0
3事	業期間	46	年度から	•		年度まで	人権教育及び人権の啓発技	推進に	関する法律	₿ 8	総合戦略へ	の掲載		
4事	務分類	法定受	託事務	0	自治	事務	部落差別の解消の推進	に関	する法律	9	市長公約で	の位置付け	無	No
5国	県補助 なし	,					同和団体事業費補助金	交付	要綱					
	5 45				誰•	何を(対象)			تع	のような状	態にしたいた	(意図)	
	目的	部落角	解放同盟桐 人権運動連			里支部			各種人権 人権を習 ¹]常生活への5	定着	
	方法		直接第			託·指定管	管理 〇 補助金	貸付	t	その	70他 ()
10 事務事業の詳しい内容(R2年度実施した内容を必ず記載) 人権問題の解決を目指し、人権を習慣・文化として日常生活に定着させるよう啓発推進を生市協議会新里支部、地域人権運動連合会桐生支部)が行う関係者の自立及び人権擁護の取活動事業に対して補助金を交付する。 2団体における補助金の使途は、人権問題の実態の把握、人権問題の解決への取り組み、場合和2年度補助金交付実績・部落解放同盟桐生市協議会新里支部 1,909,916円・地域人権運動連合会桐生支部 838,000円											取り組み、	並びに人権か	尊重され	
11	主な業務 業務		このよう	な業務	を行:	っている	か。事務量が多い業務を		○以内で記 養務内容概					
抽出	金交付事務		抽	助全力	√₩₩	ままた安	本し、 猫助全な古出す			i y				
	助金交付事務 補助金交付申請書を審査し、補助金を支出する業務。 業報告書・決算報告書の審 は助対免団体から提出された事業報告書・決算報告書を審								カ。					
事業 査	報古書・決	· 昇 報 古 吉	一種	助対象	団体だ	いら提出	された事業報告書・決算	章報さ	告書を審査	iする!	業務。			

	学未大根 (,									
1	事務事業コス	1			単位	令和元年度	(実績)	令和2年	度(実績)	令和3年度	(見込み)
			事業費(人件費除く。)		千円		4,079		2,866		3,796
			人件費		千円		1,260		972		972
	771	内	職員		人工 千円	0.15人	1,080	0.11人	792	0.11人	792
	コスト	訳	会計年度任用職員等	Ē	人工 千円	0.1人	180	0.1人	180	0.1人	180
			総コスト		千円	<u>'</u>	5,339		3,838		4,768
		市民	1人当たり(R3.3.31時点)		円		50		36		44
			国·県支出金		千円						
			起債		千円						
	財源内訳		皆負担額(負担金、使用料、手数米	以実費)	千円						
	7.3 WAL 2017		その他特財		千円						
			一般財源		千円		5,339		3,838		4,768
				目標値			178		110		110
		研修記	会•会議等活動数	実績値			178		110		
	マチャナト・ナボ			達成度	%		100.0		100.0		0.0
2	活動指標			目標値							
				実績値							
				達成度	%						
				目標値	円		3,680		3,680		3,638
	成果指標	団体社	補助金	実績値	円		3,680		2,748		
2	数値化が困			達成度	%		100.0		74.7		0.0
3	難な場合はそ の理由も記			目標値							
	載)			実績値							
	124/			達成度	%						

Ш	事業の評価(CHECK)					事務事業名	新里支所人権問題対策事業
	どのような成果と効果が得ら	られたか.	、可能な限り定量的	かに示す。また	、評価に対する	説明を分かりやす	く記載する。
• 得 (成	国効性】 A られた成果と効果を記載 果指標の達成度に対する評価 いるよとの比較検討も含めて)	成果を気	2量的に把握するこ	とが難しいが、	一定の成果を得	引ているものと捉	えている。
	加率性】 人		は、毎年度検討の必 補助事業であるため		まなじまない。		
• 事 見 (事)	必要性】						え、適切な補助金支出に努める。 向性が変わることも考えられる。
· 公 ^立 受益 情報	公平性・						は公益性を有しており、また、団 いものと認識している。
・他の 及び ※「前	を位性・ 独自性】 の自治体(同様事業含む)との比較 が優位性・独自性があれば記載 が橋市、高崎市、伊勢崎市、 な田市、みどり市」の状況に のいては、可能な限り記入する。		状況について、補助 5,022千円 高崎市				40千円 みどり市 0千円
※書で おく 例:神	の他(特記事項)】 面審査を行う上で、説明して くべき事項を記載 補助金の交付における補助対象 事業の総事業費など						
B:	適切である。(既に必要な見 概ね適切であるが、改善の余 見直しが必要である。 昨年度フォローアップ 。	地はある	00	む。)			
令	最終評価結果	<u> </u>		最終評価結果	果に対する具体的	りな改善内容等(担当課意見)
和2年度	現状のまま維持 執行方法等の工夫・見直し 縮小 終了		R2評価 未実施				
V	事務事業の改善(AC	TION •	PLAN)				
一次評価)	今後の方向性 現状のまま維持 執行方法等の工夫・見直(縮小 終了		現状のまま 維持		ては、目的、内容		習慣・文化として定着させる啓 な補助金支出に努めたい。
_ ~	今後の方向性			 意 見			
二次評価)	現状のまま維持執行方法等の工夫・見直は縮小終了		執行方法等 の工夫・見 直し	人権問題の解決		が取り組んでいる が補助額の適正化	具体的な内容について、把握・ を図られたい。
	今後の方向性			意見			
最終評価	ラ後の刀向性 現状のまま維持 執行方法等の工夫・見直し 縮小 終了		執行方法等 の工夫・見 直し	一思のと	おり		

		19 11 12 1	71	* ()			I# 13 /	•	7.	<u></u>	3 - 3 /3	7 71	ا الساقاة	n 1 1mm3	1		
1	事業の位	置付け	と概	要								整理番号			71		
1事務	事業名 新里支藤	听隣保食	馆管理事	業							担当	部·局 課·所·3 係(担当		地 域 技 新里支 庶 務	所市民		₽
2 予算	算科目 3	款	1 Ij	頁 1		6 根	拠法令等	(主なも	ത)		7 :	第六次総合	計画での	の位置付け	(基本計画)	0
3事	業期間	年	F度から		年度まで	理に関	新里町保健ダ する条例				8	総合戦略	への掲載	載			
4事	⁸ 分類 法	定受託事	事務(自治	事務		新里町保健ス する条例施行		' -σ	設置及び	9	市長公約	での位置	置付け	無	No	
5 国	具補助 隣保館運	営費補品	助金(3	/4)		隣保!	館設置運	営要綱	(国])							
				誰。	· 何を (対象)					۲	のような	状態に	したいか	(意図)		
	目的	同和地(体	区および	が、その周]辺地域の	の住民	を含めた地	也域社会				へ権啓発の ←センタ)住民交流	の拠点と	こなる原	増かれ
	方法	O i	直接実施	委	託·指定的	管理	補助金		貸付	ব	そ(の他 ()
事業概要	業 【実績】 概 1 隣保館利用状況												、生				
11	主な業務内容	(どの)ような !	業務を行っ	っている	が。事	務量が多	い業務を									
□な 3.2×	業務名 業務名 業務内 啓発事業 イベント等における啓発物品の配布。									業務内容	陇安						
合充:	事 兼 		17.	ノト寺にる	ここのは	光 物 品	100世命。										
地域	交流事業		住民3	交流を目的	りとした	、各種	講座の開	催。									
日常	対応		隣保館	館の庶務美	業務およ	び、群	馬県隣保館	館連絡協	議ź	会対応業	務。						

	学未大根 (,									
1	事務事業コスト	-			単位	令和元年度	(実績)	令和2年	度(実績)	令和3年度	(見込み)
			事業費(人件費除く。)		千円		1,809		1,455		1,696
			人件費		千円		4,968		4,104		4,104
	771	内	職員		人工 千円	0.44人	3,168	0.37人	2,664	0.37人	2,664
	コスト	訳	会計年度任用職員等	F	人工 千円	1人	1,800	0.8人	1,440	0.8人	1,440
			総コスト		千円	,	6,777	,	5,559		5,800
		市民	1人当たり(R3.3.31時点)		円		63		52		54
			国·県支出金		千円		2,341		2,341		2,341
			起債		千円						
	財源内訳		皆負担額(負担金、使用料、手数料	、実費)	千円						
			その他特財		千円						
			一般財源		千円		4,436		3,218		3,459
				目標値	事業		7		6		6
		交流	事業数	実績値	事業		6		1		
	注手+1七+西			達成度	%		85.7		16.7		0.0
2	活動指標			目標値							
				実績値							
				達成度	%						
				目標値	人		248		130		130
	成果指標	交流	事業参加者数	実績値	人		129		52		
3	数値化が困			達成度	%		52.0		40.0		0.0
3	難な場合はそ の理由も記			目標値							
	載)			実績値							
				達成度	%						

_111	事業の評価(CHECK)					事務事業名	新里支所隣保館管理事業
	どのような成果と効果が得ら	られたか	、可能な限り定量的	りに示す。	また、評価に対する	説明を分かりやす	ていまする。
• 得 i	国効性】	地域性、いる。	、独自性尊重し地域	交流事業を	を推進しており、気軽	経に安心してさん	かできる事業を継続的に実施して
	カ率性】 人 用対効果の面から記載	保健福	祉センターと併設で	あるため、	施設の維持管理はい	必要最小限の経費	で行っている。
• 事 見 (事)	が要性】				D速やかな解決は国) よじめとする人権問題		あり、実施すべきである。また 、 る。
· 公平 · 公平 · 受益 情報	公平性・ 医明性】	地域に	おける交流の拠点施	設であり、	透明性は確保される	ている。	
独 ・他の 及び ※「前 太	受位性・ 独自性】 の自治体(同様事業含む)との比較 が優位性・独自性があれば記載 が橋市、高崎市、伊勢崎市、 に田市、みどり市」の状況に のいては、可能な限り記入する。	群馬県に	为11館あるが、設	置状況が核	兼々である、比較は!	していない。	
※書面 おく 例:神	の他(特記事項)】 面審査を行う上で、説明して くべき事項を記載 前助金の交付における補助対象 事業の総事業費など			±, `			
B:t C:!	適切である。(既に必要な見 概ね適切であるが、改善の余 見直しが必要である。 昨年度フォローアップ	地はある	5.	೮.)			
令	最終評価結果	017.EL111	DK (CITECIT)	最終評価		かな改善内容等(扣 当 課章員)
7和2年度	現状のまま維持執行方法等の工夫・見直に縮小終了	J	現状のまま 維持	地域の実態	態に即した運営の工	夫が必要である。	また、同和問題をはじめとする るよう努める必要がある。
V	事務事業の改善(AC)	TION .	- ΡΙΔΝ)				
(今後の方向性	. 1011	1 =F414 /	改善点	• 見直し(案)等		
一次評価		J	現状のまま 維持	現状の社会	会情勢における人権		今後益々必要とされる。その事 あるため、事業は維持する必要
_ [今後の方向性			意			
二次評価)	現状のまま維持 執行方法等の工夫・見直し	J	執行方法等 の工夫・見 直し	事業を継続	- 読すると共に、より:		のため、コミュニティーセン 周知方法の見直しを検討された
	今後の方向性			意	₹		
最終評価	ラ俊の月回性 現状のまま維持 執行方法等の工夫・見直し 縮小 終了	J	執行方法等 の工夫・見 直し	二次評価の			

				•		` ` •				•		,		J 71	4-110			***			
1	事業の	の位は	置付	けと	既要									整理番·	号			72			
1事務	事業名	新里	支所の	iiれあし	農園	管理	事業						担当	部· 課·所 係(担	r·室			振 興 所地域 養 振			
2 予算	草科目	6	款	1	項	2		6 根据	処法令等	(主なも	の)		7 3	第六次総	计信念	画での信	立置付け	ナ (基本計	画)	(C
3 事業	詳期間	平成	6	年度から			年度まで	桐生市	新里町ふ	れあい農	園事	業実施要綱	8	総合戦	略への	の掲載					
4 事剂	8分類	法	定受訊	事務	0	自治	事務						9	市長公	約での	の位置	付け	ŧ	1 #	Vo	
5 国	具補助																				
	C 44					誰・	何を(対象)					تع	のよう	な状態	態にし	たいか	い(意図])		
	目的	J	農業		力市民	<u>.</u>						自然に触れ	合き	らととも	こに農	業に対	dする!	里解を選	₽めて	もら	う。
	方法	Ī	0	直接第	€施	〇 委	託·指定管	管理	補助金	0	貸付	ব	その	り他 ()
10 事務事業の詳しい内容(R2年度実施した内容を必ず記載) 農業者以外の市民が野菜を栽培して、自然に触れ合うとともに、農業に対生市新里町ふれあい農園の貸付け及び管理を行う。 ・区画数 27区画(1区画60㎡) ・利用料 1区画5,000円 ・農園利用者を募集し、貸付け ・光熱水費の支払い、浄化槽保守管理委託、施設維持管理												976	_C&		·····································	1100	7100	1141			
11	主な業務		ع)	のよう	な業績	労を行:	っている	か。事	務量か多	い業務を		つ以内で記 業務内容概	,,,								
利用	業務名 広報きりゅう、ホー 広報きりゅう、ホー						ホーム	ページ	で利用者	募集を行				利用料	徴収						
各種類	る種料金支払い 電気料、水道料、種				4、群馬	用水賦	課金の支	出													
施設統	i設維持管理 净化					守管理	里委託、	施設維持	持管理												

	于永大恨(,									
1	事務事業コスト	`			単位	令和元年度	(実績)	令和2年	度(実績)	令和3年度	(見込み)
			事業費(人件費除く。)		千円		224		172		170
			人件費		千円		504		504		504
	771	内	職員		人工 千円	0.07人	504	0.07人	504	0.07人	504
	コスト	訳	会計年度任用職員等		人工 千円		0		0		0
			総コスト		千円	,	728		676		674
		市民	1人当たり(R3.3.31時点)		円		7		6		6
			国·県支出金		千円						
			起債		千円						
	財源内訳		皆負担額 (負担金、使用料、手数料	、実費)	千円		130		135		135
	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		その他特財		千円						
			一般財源		千円		598		541		539
				目標値	区画		27		27		27
		管理	区画数	実績値	区画		27		27		
0	注手++12+==			達成度	%		100.0		100.0		0.0
2	活動指標			目標値							
				実績値							
				達成度	%						
				目標値	区画		27		27		27
	成果指標	利用	区画数	実績値	区画		26		27		
2	数値化が困			達成度	%		96.3		100.0		0.0
3	難な場合はそ の理由も記			目標値							
	載)			実績値							
				達成度	%						

Ш	事業の評価(CHECK)			事務事業名	新里支所ふれあい農園管理事業
	どのような成果と効果が得ら	られたか、可能な限り定量的	的に示す。また、評価に対する訪	胡を分かりやす	すく記載する。
• 得 · (成)	野効性】 B られた成果と効果を記載 果指標の達成度に対する評価 が過去との比較検討も含めて)	農園利用により、農業者以 もらう一要因となっている		然に触れ合うと	ともに農業に対する理解を深めて
	国対効果の面から記載	家庭菜園規模の区画での野	予菜栽培により、農業に対する理	解や関心を深め	てもらうことに繋がっている。
• 事 見 (事)	が要性】 業を継続することの意義、 込み数の変動等を記載 業の将来への見通し及び 業推進に当たっての課題等)	農業者以外の市民が自然に の提供を継続していく。	こ触れ合うとともに農業に対する	理解を深めても	らうため、野菜栽培のできる場所
· 公平 受益 情報	公平性・ 医明性】	利用者の募集は、広報きり負担がある。)ゅう・ホームページに掲載して	いる。また、1	区画につき年間5,000円の利用料
独 ・他の 及び ※「前 太	をは性・ 配自性】 の自治体(同様事業含む)との比較 所優位性・独自性があれば記載 が橋市、高崎市、伊勢崎市、 に田市、みどり市」の状況に のいては、可能な限り記入する。	各市で市民農園を開設して 前橋市 2箇所、高崎市 1億	こいる。 箇所、太田市 4箇所、みどり市 2	2箇所	
※書面 おく 例: 補 事	の他(特記事項)】 「審査を行う上で、説明して くべき事項を記載 輔助金の交付における補助対象 事業の総事業費など				
B:机 C:5	適切である。(既に必要な見既ね適切であるが、改善の余見直しが必要である。	地はある。	きむ。)		
	昨年度フォローアップ	<u> </u>		なみ美内容等	(扣水細辛目)
令和2年度	最終評価結果 現状のまま維持 執行方法等の工夫・見直し 縮小 終了	執行方法等の工夫・見直し	最終評価結果に対する具体的 利用者へ継続確認のほか、農業 休農地の紹介や斡旋を行ってい	経営等の意向も	ゼロコは思えが 5確認し、農業振興課と連携し遊
V	事務事業の改善(AC	TION · PLAN)			
	今後の方向性	,	改善点・見直し(案)等		
一次評価)	現状のまま維持 執行方法等の工夫・見直し 縮小 終了	執行方法等 の工夫・見 直し	毎年、利用継続調査を行ってい	るなかで、農業	終経営希望等の意向調査も行う。
ا _	今後の方向性		意見		
二次評価)	現状のまま維持執行方法等の工夫・見直に縮小終了	執行方法等 の工夫・見 直し	農業者以外の市民が自然に触れ		B解を深める一助となっている B的な遊休農地の紹介・斡旋に繋
ı	全体の方向性		意 見		
最終評価	今後の方向性 現状のまま維持 執行方法等の工夫・見直し 縮小 終了	執行方法等 の工夫・見 直し	一点 兄		

						, \	J 1 1 2		II-J.	— · I · · · ·	— J /J	7 78 m	وسوا الاحداد	71	
1	事業の	の位	置付	けと	概要						200	整理番号		73	
1 事務	事業名	新里	支所島	農業振興	興事 第	Ě					担当	部·局 課·所·室 係(担当)		振 興 整 听地域振興 徒 振	
2 予算	草科目	6	款	1	項	2		6 根拠法令等(主な	もの)		7 9	第六次総合計	画での位置付け	(基本計画)	0
3 事業		平成2	29	年度から	>		年度まで	多面的機能支払交付	す金さ	を付要綱	8 8	総合戦略へ	の掲載		0
4 事	务分類	法	定受語	毛事務	0	自治	事務				9 i	市長公約で	の位置付け	無	No
5 国	具補助 国	1/2	県1/	4											
						誰•	• 何を(対象)			تا	のような状	態にしたいか	(意図)	
	目的]	事業	実施区均	或内					地域共同	活動を	支援し、農	農業農村機能の)維持・乳	発揮を図る。
	方法	ž	0	直接到	実施	委	托·指定管	管理 〇 補助金	貸	য	その	70他 ()
10 事務事業の詳しい内容(R2年度実施した内容を必ず記載)															
11	主な業務	3内容 8名	(2	このよっ	公業を	労を行っ	っている	が。事務量が多い業務		つ以内で記 業務内容機					
実施	舌動確認對			取	 組み	 犬況 、 호	対象農地	現地確認	:	*1777	<u>ж</u> <u>-</u>				
交付:	E付金申請業務			県	へ交f	寸金交付	寸申請業	務							
交付:	付金交付業務			組	織へる	を付金ず	交付業務	5							

	学未大根 (,									
1	事務事業コスト	1			単位	令和元年度	(実績)	令和2年	度(実績)	令和3年度	(見込み)
			事業費(人件費除く。)		千円		3,724		3,355		3,721
			人件費		千円		1,800		1,800		1,800
	¬¬.	内	職員		人工 千円	0.25人	1,800	0.25人	1,800	0.25人	1,800
	コスト	訳	会計年度任用職員等	Ē	人工 千円		0		0		0
			総コスト		千円		5,524		5,155		5,521
		市民	1人当たり(R3.3.31時点)		円		51		48		51
			国·県支出金		千円		2,793		2,517		2,790
			起債		千円						
	財源内訳	受益者	皆負担額 (負担金、使用料、手数料	、実費)	千円						
	73,311,30,7		その他特財		千円						
			一般財源		千円		2,731		2,639		2,731
				目標値	団体		1		1		1
		実施約	組織	実績値	団体		1		1		
	江手+15+西			達成度	%		100.0		100.0		0.0
2	活動指標			目標値							
				実績値							
				達成度	%						
				目標値	ha		53		53		53
	成果指標	対象層	農地	実績値	ha		53		53		
2	数値化が困			達成度	%		100.0		100.0		0.0
3	難な場合はそ の理由も記			目標値							
	載)			実績値							
				達成度	%						

Ш	事業の評価(CHECK)					事務事業名	新里支所農業振興事業
	どのような成果と効果が得	られたか	、可能な限り定量的	りに示す。また、	. 評価に対する	説明を分かりやす	すく記載する。
• 得 · (成)	可効性】		引での農地法面、水 D発生抑止に繋がっ)草刈り、泥上に	ず等の管理活動に	より、地域の自然環境保全や耕作
【效	力率性】 人 日対効果の面から記載		機能支払交付金制度 5深まっている。	を活用すること	こにより、農業・	農村の有してい	る機能の維持保全や地域農業者間
• 事美 見 (事美	が要性】 学を継続することの意義、 込み数の変動等を記載 業の将来への見通し及び 詳推進に当たっての課題等)		手により、水路、農 Èに努めてもらう。	道等の維持管理	里に対する担い手	€の負担が増加し	ているため、地域共同活動により
· 公平 受益 情報	な平性・ 野明性】 B P性が確保されているか、 益者負担は適切か、積極的に 服公開がされているかなどに)て記載		5動を行っている組 日を行っている。	織は童沢みど <i>!</i>)の会のみである	5が、他の水利組	合等にも多面的機能支払交付金制
独 ・他の 及び ※「前 太	を位性・ 独自性】 B 自治体(同様事業含む)との比較 が優位性・独自性があれば記載 が橋市、高崎市、伊勢崎市、 に田市、みどり市」の状況に ひいては、可能な限り記入する。		·度群馬県内実施地 29地区、高崎市 9			市 22地区、みる	どり市 4地区
※書品 おく 例: 神	の他(特記事項)】 面審査を行う上で、説明して くべき事項を記載 補助金の交付における補助対象 事業の総事業費など	国(1/2	4) 838,860	9 9	5,440円		
B:机 C:5	適切である。(既に必要な見 既ね適切であるが、改善の余 見直しが必要である。 昨年度フォローアップ	地はある).	む。)			
令	最終評価結果	叫上形	SK (CHECK)	最終評価結果	果に対する具体的	りな改善内容等(
和2年度	現状のまま維持 執行方法等の工夫・見直 縮小 終了	U	R2評価 未実施				
V	事務事業の改善(AC	TION ·	PLAN)				
• 一	今後の方向性		/	改善点・見画	直し(案)等		
次評価)	現状のまま維持 執行方法等の工夫・見直 縮小 終了	U	現状のまま 維持		支援の多面的機能 寺保全に努めても		を活用し、農業・農村の有して
_ ~	今後の方向性			意見			
二次評価(内部評価)	現状のまま維持 執行方法等の工夫・見直 縮小 終了	U	がににから	取組状況や対象	の水利組合等への		の活動の有効性を確認された 別知を行えるよう、方法について
_	今後の方向性			意見			
最終評価	現状のまま維持 執行方法等の工夫・見直 縮小 終了	U	執行方法等 の工夫・見 直し	二次評価のと	 おり		

7711 3	TIX \ '	19 TU 4	一个汉儿	117,3	Cila 3	J 73:	于大心		
Ⅰ 事業の位置付ける	、概要					朝	整理番号	74	
1事務事業名 新里支所商業	長興事業					担当	部·局 課·所·室 係(担当)	地 域 振 興 整 備 局新里支所地域振興整備課産 業 振 興 係	
2 予算科目 7 款	項 1		6 根拠法令等(主なも	5の)		7 角	第六次総合計	画での位置付け(基本計画)	
3 事業期間 年度	から	年度まで	桐生市新里商工会補	助金	交付要綱	8 #	総合戦略へ	の掲載	
4 事務分類 法定受託事務		台事務				9 ī	市長公約で	の位置付け 無 No	
5 国県補助									
	誰	何を()	対象)			اللے	のような状	態にしたいか(意図)	
目的 新里地域	小規模事業者		経営改善を 展を推進す	を図り、商工行政の円滑化及び地域産業の振興と乳 する。					
方法直	接実施 委	託·指定管	管理 〇 補助金	貸付	t	その)他 ()	
事 対して補助金を交付する業 桐生市新里商工会は、 業等、多岐かつ細部にれ 要 や新里地区産業祭等の1	。 中小企業者現 たり中小企業 ベントに主体	状を把握者への経的にかか	し、経営改善普及事業 営指導を行っているほ わり、地域活性化の大	、総合 か、 を さな 推	合振興対策 現光対策事 注進力とな	事業、特で	税務対策 持産物開発	、桐生市新里商工会が行う事業に 事業、金融対策事業、労務対策事 事業等も行い、また、新里まつり	
11 主な業務内容 (どのよ 業務名	つな業務を行	っている	か。事務量が多い業務		D以内で記述 養務内容概要				
補助金交付業務	補助全态付中	詰な巫什			を	Ζ'			
	州如亚文门中	明で文门	(留且、 間切並又19						

	学未大根 (,									
1	事務事業コス	-			単位	令和元年度	(実績)	令和2年	度(実績)	令和3年度	(見込み)
			事業費(人件費除く。)		千円		7,200		7,200		7,200
			人件費		千円		504		504		504
	771	内	職員		人工 千円	0.07人	504	0.07人	504	0.07人	504
	コスト	訳	会計年度任用職員等	Ē	人工 千円		0		0		0
			総コスト		千円		7,704		7,704		7,704
		市民1人当たり(R3.3.31時点 国·県支出金			円		72		72		72
			国·県支出金		千円						
			起債		千円						
	財源内訳	受益者	皆負担額(負担金、使用料、手数料	以実費)	千円						
			その他特財		千円						
			一般財源		千円		7,704		7,704		7,704
				目標値	所		323		325		325
		商工组	会会員数	実績値	所		323		325		
2	注 #h + lo + m			達成度	%		100.0		100.0		0.0
_	活動指標			目標値			20		20		20
		講習記	会•講演会開催数	実績値			25		20		
				達成度	%		125.0		100.0		0.0
				目標値	件		1,600		1,600		1,600
	成果指標	相談技	指導件数	実績値	件		1,993		1,672		
3	(数値化が困 難な場合はそ			達成度	%		124.6		104.5		0.0
3	無な場合はての理由も記			目標値							
	載)			実績値							
				達成度	%						

Ш	事業の評価(Cl	HECK)			事務事業名	新里支所商業振興事業
	どのような成果と効	カ果が得られたた	い、可能な限り定量的	りに示す。また、評価に対する	説明を分かりやす	く記載する。
• 得 i	国効性】	- 桐生市 記載 経営支 ^{評価}		町内小規模事業者の現状を把 業も実施しており、商工行政の		寅会開催、経営相談指導等による 生化に貢献している。
	加率性】	- 新里地	域の商工行政円滑化	が地域活性化に多大に貢献して	ているため、補助:	金の効果は高いと考える。
• 事 見 事	学を継続することの 送み数の変動等を記 業の将来への見通し及び 業が将来への見通し及び 業が進に当たっての課題等	 意義、 新里地 ³ 載	域の商工行政円滑化	びや地域振興に商工会事業は重要	要であるため、効薬	率的な運営を行ってもらう。
· 公平 受益 情幸	公平性・ を明性】 平性が確保されている。 益者負担は適切か、積 報公開がされているかって記載	<u></u> か、 市・県 極的に	等補助金、各種手数	料収入の他、商工会員から会	費を徴収し事業運営	営を行っている。
が ・他の 及び ※「前 太	を放性・ 独自性】 「特別では、	上の比較 ば記載 県内43 市、 況に	3商工会に、各市町村	可で補助を行っている。		
※書 お め: を	の他(特記事項) 面審査を行う上で、説 くべき事項を記載 浦助金の交付における 事業の総事業費など	明して 補助対象 常助対象 令和2: 総事業 補助対	象事業費 40,738	,138円 ,842円		
B : # C : !	適切である。(既に! 概ね適切であるが、i 見直しが必要である。 昨年度フォロー	改善の余地はあ	ె .	단。)		
IV 令	最終評価結果	一个 人间 且	o来(Check)	最終評価結果に対する具体	的な改善内容等(旧 当課意見)
和2年度	現状のまま維持執行方法等のエチ縮小終了	₹・ 見直し	R2評価 未実施			
V	事務事業の改	善(ACTION	· PLAN)			
一 亩	今後の方向性			改善点・見直し(案)等		
次評価)	現状のまま維持 執行方法等のエチ 縮小 終了	₹・見直し	執行方法等 の工夫・見 直し	事業内容を確認し、より効率	的な事業実施に努る	めてもらう。
_ ^	今後の方向性			意見		
二次評価(内部評価)	現状のまま維持 執行方法等のエチ	₹・見直し	かにたる	相談・指導を通して小規模事	近隣他市の補助状況	ていることが窺えるが、商工会 況と比較した上で、現在の補助
	今後の方向性			意見		
最終評価	ラ後の月回性 現状のまま維持 執行方法等のエチ 縮小 終了	₹•見直し	執行方法等 の工夫・見 直し	- 思 - 二次評価のとおり		

					•	` .		- 11410/				3 214-116		***		
	事業(の位	置付	けと	羅						17	整理番号		75		
1事發	事業名	新里	支所ま	まつり事	業						担当	部·局 課·所·室 係(担当)		振 興 整 所地域振 振		
2 予算	章科目	7	款	1	項	5	B	6 根拠法令等(主なす	ちの)		7 9	第六次総合計	画での位置付け	け(基本計画	0	
3 事業	業期間	昭和6	5O	年度から			年度まで	新里まつり開催事業費	補助	金交付要綱	8 8	総合戦略へ	の掲載			
4 事	络分類	法	定受訊	毛事務	0	自治	事務				9 i	市長公約で	の位置付け	無	No	
5 国	県補助															
		5				誰•	何を(対象)			どのような状態にしたいか(意図)					
		ัป	新里	まつり						住民連携を	深め)、住民文化	どの向上と産業	業振興に	うする。	
	方法	去	0	直接第	€施	委	託·指定管	管理 〇 補助金	貸付	ਹੈ	その	D他 ())
10	5 0,5 5 -							を必ず記載) と産業振興に寄与する								
事業概要	なった。							が、令和2年度の第36				型コロナウ	イルス感染拡	大防止 σ	だめ中止さ	
11	主な業務	部21谷 務名	()	.のよう	び美芸	6世行:	CNO	か。事務量が多い業務		プ以内で記述 業務内容概察						
新里	まつり実		会開作	崔 実行	行委員	会を開	見催し、	まつり開催内容を決定			<u> </u>					
補助	金交付業	務		補風	助金を	交付										
新里	まつり開	催		新	里まっ	の開催	Ĭ									
経費:	支出			ま	つり関	催経費	費を支出									

	学未大根 (70 /									
1	事務事業コス	1			単位	令和元年度	(実績)	令和2年	度(実績)	令和3年度	(見込み)
			事業費(人件費除く。)		千円		7,000		0		7,000
			人件費		千円		5,400		360		5,400
	771	内	職員		人工 千円	0.75人	5,400	0.05人	360	0.75人	5,400
	コスト	訳	会計年度任用職員等	<u> </u>	人工 千円		0		0		0
			総コスト		千円		12,400		360		12,400
		市民1人当たり(R3.3.31時点 国・県支出金			円		115		3		115
			国·県支出金		千円						
			起債		千円						
	財源内訳	受益者	皆負担額(負担金、使用料、手数料	以実費)	千円						
			その他特財		千円						
			一般財源		千円		12,400		360		12,400
				目標値			1		1		1
		開催回	回数	実績値			1		0		
2	注 sh t b t m			達成度	%		100.0		0.0		0.0
_	活動指標			目標値							
				実績値							
				達成度	%						
				目標値	人		19,000		19,000		19,000
	成果指標	来場	者数	実績値	人		13,500		0		
3	(数値化が困 難な場合はそ			達成度	%		71.1		0.0		0.0
3	が理由も記			目標値							
	載)			実績値							
				達成度	%						

Ш	事業の評価(CHECK))			事務事業名	新里支所まつり事業
	どのような成果と効果が得ら	られたか	、可能な限り定量的	りに示す。また、評価に対する記	説明を分かりやす	く記載する。
• 得 (成	国効性】 B られた成果と効果を記載 果指標の達成度に対する評価 が過去との比較検討も含めて)			あり、家族や友人連れでの来場 があり観光資源となり、新里町		1あいのイベントとなっている。 _ン ている。
27.	カ率性】 人 用対効果の面から記載	市補助:	金の他、町会・自治	会からの協賛金と企業からの協	賛金を財源に開催	崖し、新里町の活性化に寄与して
• 事 見 事 事	が要性】 業を継続することの意義、 込み数の変動等を記載 業の将来への見通し及び 業推進に当たっての課題等)	地域の	舌力源や観光資源と	ぶっている、新里地域最大のイ	ベントであり地域	或活性化に寄与している。
· 公平 受益 情幸	公平性・ 医明性】	新里町(内の町会・自治会に	毎戸300円の協賛金を依頼し、	まつりの財源と	している。
・他の 及び ※「前	を位性・ 由自性】 D自治体(同様事業含む)との比較 F優位性・独自性があれば記載 が橋市、高崎市、伊勢崎市、 に田市、みどり市」の状況に Dいては、可能な限り記入する。	各市地	域において、まつり	が開催されている。		
※書面 おく 例: 初	の他(特記事項)】 面審査を行う上で、説明して くべき事項を記載 輔助金の交付における補助対象 事業の総事業費など	事業費町会協	年度新里まつり 11,337,238 賛金 1,470,900 賛金 2,523,000	円		
B: ŧ	適切である。(既に必要な見 概ね適切であるが、改善の余 見直しが必要である。			む。)		
	昨年度フォローアップ	調査網	i果(CHECK)			
令 和	最終評価結果		<u> </u>	最終評価結果に対する具体的	のな改善内容等(持	旦当課意見 <i>)</i>
和2年度	現状のまま維持 執行方法等の工夫・見直(縮小 終了	U	R2評価 未実施			
V	事務事業の改善(AC	TION	PLAN)			
一	今後の方向性			改善点・見直し(案)等		
次評価	現状のまま維持 執行方法等の工夫・見直し 縮小 終了	U	執行方法等 の工夫・見 直し	まつり実施内容の検討により、	コスト削減に努め	めていく。
_	今後の方向性			意見		
二次評価)	現状のまま維持 執行方法等の工夫・見直し 縮小 終了	U	執行方法等 の工夫・見 直し			也市における補助額と比較しな
_	今後の方向性			意見		
最終評価	現状のまま維持 執行方法等の工夫・見直し 縮小 終了	U	執行方法等 の工夫・見 直し	二次評価のとおり		

					-	•			- 13 ·	•	••			3 373	T 7	10 111		-/14		
1	事業の	の位	置付	けと札	羅										整理番号			76		
1 事務	§事業名	黒保	根支列	斤地域活	5動推	進事業	業							担当	部·局 課·所·! 係(担当	室	黒保村	; 振 興 惠 录支所市 務 税		
2 予算	章科目	2	款	1	項	11	B	6 根	処法令等	(主	なもの))		7	第六次総合	計画での)位置付(け(基本計画	i)	
3 事	業期間	H2	8	年度から			年度まで							8	総合戦略	への掲載	戟		0)
4 事	努分類	法	定受記	毛事務	0	自治	事務							9	市長公約	での位置	置付け		No	
5 国	具補助																			
		• 何を(対象)						ځ	のような	:状態に	したいた	か(意図)							
	目的]	黒保	根地域の	D地域	活性化	í	移住定住			主支援》	及び観光振	. 興、地	域特産	物の販売の	促進				
	方法	ž	0	直接実	委	託·指定的	管理	補助金	:	É	惐	t	そ	の他 ()	
10	事務事業	の詳	しい内	容(R2	2年度	実施し	た内容を	を必ず言	7載)											
事業概要	指す ① (1) (2) (3) (4) (5) (6) (6) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	を活は営定ン者の	用マは農・大学・ はまま はまま はまま はいま はいま はい きんしん かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい か	、、「黒(*エ(日) *本験可能 *シト開け *シト開けした情報	保持では、保持では、保持では、保持では、保証では、保証では、保証の対象をは、のでは、保証の対象をは、対象をは、対象をは、対象をは、対象をは、対象をは、対象をは、対象をは、	を 所地は イブスル 泊施設	域活動推 レー八百)	進事業屋)・	方を実施市内飲食	地方で かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かい	き。 ∖ の野:	菜販	页 壳		の定住・	定着を図	図り、 地	也域の充実	・強化を	
11	主な業務 業務		ع)	このよう	な業績	第を行:	っている	か。事	務量が多	50 / 1	業務を		ン以内で ・ 務内容							
「き	まの りゅう市民		推進さ	ネッ _{#±} :	≠ #m ⁄	7肥圭/	コーチャルロー	=+++-+	\ \n'' \	, L ^					/	동민 기가나는 1년	· · · · · ·	◆ 孝 目立い		<i>i</i> =
トウ	ーク」委託	ŧ		' 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	重物∪	ノ販売は	正進 ¹⁰ 販	元払人	、イベン	/ 卜 狙	E囲建	ਵਾਂ •	<u>参</u> 则、	移仕疋	仕文援、	観光振界		でで見せり)、情報発	1=

	学未大根 (UU /									
1	事務事業コス	-			単位	令和元年度	(実績)	令和2年	度(実績)	令和3年度	(見込み)
			事業費(人件費除く。)		千円		5,509		11,789		18,617
			人件費		千円		3,240		4,032		5,544
	 1	内	職員		人工 千円	0.45人	3,240	0.56人	4,032	0.77人	5,544
	コスト	訳	会計年度任用職員等	手	人工 千円		0		0		0
			総コスト		千円		8,749		15,821		24,161
		市民1人当たり(R3.3.31時 国・県支出金 起 債			円		81		147		225
			国·県支出金		千円						
			起債		千円						
	財源内訳	受益者	当 負担額(負担金、使用料、手数料	斗、実費)	千円						
			その他特財		千円						
			一般財源		千円		8,749		15,821		24,161
			7% /= \VL	目標値			100		200		200
			発信数 'Instagram/twitter含)	実績値			196		195		
2	江东+1七+西	(I III	II ISLAGI AITI/ LVVILLEI 📥/	達成度	%		196.0		97.5		0.0
_	活動指標			目標値			10		15		10
		イベ	ントの企画運営	実績値			6		9		
				達成度	%		60.0		60,0		0.0
		•	ジラクレフ*b	目標値	件		15,000		20,000		18,000
	成果指標		ジアクセス数 'Instagram/twitter含)	実績値	件		14,300		16,500		
3	数値化が困	VI IIE/	II ISLASI AITI/ LVVILLEI 📥/	達成度	%		95.3		82.5		0.0
3	難な場合はそ の理由も記			目標値	人		1,000		2,000		3,500
	載)	イベ	ントの参加者数	実績値	人		375		3,100		
				達成度	%		37.5		155.0		0.0

事業の評価(CHECK) 事務事業名 黒保根支所地域活動推進事業 どのような成果と効果が得られたか、可能な限り定量的に示す。また、評価に対する説明を分かりやすく記載する。 А 「くろほねマルシェ」(旧 ドライブスルー八百屋)を企画・継続的に実施し、黒保根の野菜等の特産物 【有効性】 の販売促進及び魅力発信を行った。この企画がメディアにも頻繁に取り上げられたことで、黒保根の認知度 が向上するとともに新型コロナウイルスの影響を受けていた農家等の売り上げ回復に役立った。 地域の高齢者の見守りや交流、キャンプ場でのイベント実施などにより、地域の活性化も図られた。 協力隊員の熱意と行動力が地域に大きな刺激を与えており、高齢化や過疎の進展などの黒保根地域の課題 ・ 得られた成果と効果を記載 地域の高齢者の見守りや交流、 (成果指標の達成度に対する評価 及び過去との比較検討も含めて) 解決の一助となっている。 R 【効率性】 都市地域からの移住者である隊員がよそ者目線で黒保根地域を見ることで、地域住民や行政が見落として いる魅力に気づき、その魅力を積極的に情報発信することが可能となっている。 また、隊員の活動は地域の住民を巻き込むものであり、そのことが地域の活性化に極めて効果的である。 費用対効果の面から記載 なお、隊員の雇用・活動に要する経費の全額が特別交付税措置されている。 黒保根ならではの暮らしや知恵・自然・文化の継承・魅力の発信など、新たな試みにチャレンジしていく 【必要性】 隊員は地域活性化の原動力となりうる存在である。 また地域の課題に根差したそれぞれの多分野における取り組みが、さらに多くの地域の方を巻き込み、地 事業を継続することの意義、 域住民同士のつながりも含めたコミュニティ形成、黒保根町独自の新しい価値や魅力化に繋がる可能性も大 見込み数の変動等を記載 いに秘めている。このことからも地域活性化に積極的に取り組む隊員の存在価値は非常に大きい。地域活性 (事業の将来への見通し及び 化は短期間で到底できるものではなく、持続的な取り組みが必要不可欠である。 事業推進に当たっての課題等 【公平性・ 透明性】 隊員の活動については、隊員が毎月1回作成している「ニュースレター」を広報紙と一緒に毎戸配布、また同時に桐生市ホームページにも掲載を行い誰もが見られるよう周知を図った。隊員のそれぞれの活動は、 公平性が確保されているか、 受益者負担は適切か、積極的に情報公開がされているかなどに 桐生市ホームページやSNS等を活用し随時更新を行った。 ついて記載 【優位性・ 独自性】 職員の任用形態は、前橋市は首長が委嘱のみで、雇用保険等が個人負担となることから報酬に対する優位 他の自治体(同様事業含む)との比較 性は低い。みどり市や沼田市等の会計年度任用職員での任用の場合は、報酬に対する優位性は高い一方で、 及び優位性・独自性があれば記載 隊員の活動の自由度は低い。 ※「前橋市、高崎市、伊勢崎市、 太田市、みどり市」の状況に ついては、可能な限り記入する。 【その他(特記事項)】 ※書面審査を行う上で、説明して 特別交付税措置(報償費等:240万円/人、活動経費:200万円/人)あり。 おくべき事項を記載 例:補助金の交付における補助対象 事業の総事業費など A:適切である。(既に必要な見直しを行っている場合を含む。) B: 概ね適切であるが、改善の余地はある。 C:見直しが必要である。 昨年度フォローアップ調査結果(CHECK)

令	最終評価結果		最終評価結果に対する具体的な改善内容等(担当課意見)
和2年度	現状のまま維持 執行方法等の工夫・見直し 縮小 終了	執行方法等 の工夫・見 直し	協力隊の活動を効果的に実施するためには、隊員の活動に対する住民理解が必要となる。このことから、より積極的な地域住民との関わりが求められる。また、退任後の定住について、更に考える必要がある。 黒保根地域単独でなく、桐生市全体として本制度を有効活用していくことが望ましい。

事務事業の改善(ACTION・PLAN)

— n	今後の方向性		改善点・見直し(案)等
次評価)		現状のまま 維持	それぞれの隊員が任期満了時において、定住に結びつけていくことができるよう、引き続き地域住民や関係機関等と連携を図り隊員の活動支援を行っていく。
			<u>-</u>
- 🛈	今後の方向性		意見
<u> </u>	TR.I.D. 6. + + //4++	ナカノー・ナートナケケ	■ 協力隊による各種イベントの関催などの活動が 里俣根地区の認知度向上や

現状のまま維持 執行方法等の工夫・見直し の工夫・見 対果が見えづらい状況であるので、本事業を受けての地域住民の反応を確認 縮小 し、隊員の定住や地域活性化に寄与している実績を示されたい。 直し 終了

155	今後の方向性			
終評価	現状のまま維持 執行方法等の工夫・見直し 縮小 終了	執行方法等 の工夫・見 直し	F 一次計画のこのも 3	

					_ *	, \	J 1 1 2		117_	In 4	3 13.	3 >N '110	4 mm 1 mm 3	1		
1	事業の)位	置付	けと	既要	•					T I	整理番号		77		
1事務	事業名	黒保	根支原	斤在宅 高	多齢者	ぎ 等外に	出支援 [‡]	ナービス事業			担当	部·局 課·所·室 係(担当)	黒保根	辰 興 整 支所市民生 ナ ー ビ	E活課	
2 予算	章科目	3	款	2	項	2		6 根拠法令等(主なも	5の)		7 9	第六次総合計	画での位置付け	(基本計画)	0	
3 事	業期間	16	6	年度から	>		年度まで	桐生市黒保根町在宅高齢者等外出	支援サ	ービス実施要綱	8 8	総合戦略へ	の掲載			
4事	努分類	法	定受記	毛事務	0	自治	事務				9 ī	市長公約で	の位置付け		No	
5 国	具補助															
						誰・	• 何を(対象)			سل	のような状	態にしたいか	(意図)		
	目的)		の交通を する高齢			ることだ	が困難な桐生市黒保根田					に高齢者等の社 在宅福祉の向上			
	方法	ž		直接到	実施	委	託·指定管	管理 〇 補助金	貸付	t	そ0	D他 ()	
10	事務事業	の詳	しい内	容(R2	2年度	実施し	た内容を	を必ず記載)								
事業概要 11	ている公 身体障害 知的障害 野神で 電子 知的で できます かいき できます いき	共者者 者な者 目交の 一	通の5が1の1の1の1の1の1の1の1の1の1の1の1の1の1の1の1の1の1の1	地以害患帳 害 自身 は きょう かんしょう はんしょう はんしょう はんしょう はんしょう かんしょう かんしょう かんしょう はんしょう はんしょく はんしん はんしょく は	運②介1で(保 車知的	で利認ででで利認をできます。 できまい できまい でき はい できまい でき いっぱい かいい かいい かいい かいい かいい かいい かいい かいい かいい か	できる援災 要支援 対象 受け 動 長 1級 (ウ) (ウ) (ウ) (ウ) (ウ) (ウ) (ウ) (ウ	保保根町に居住する高齢: 旧券(1枚当たり500円以上 ③非課税世帯 ②タクシー券の受給を受けていない。 の交付を受けている。(②自立支援医療受給者記 でいない。 どれかに該当するときに が、事務量が多い業務:	円、 ^全 砂けて ②夕ぐ 亚(精 こ利用	手間最大36 「いない。 フシー券の登 情神通院)で 目できる「タ	3,000 ③世 受給を を持つ 外出す	O円分)を付けます。 対象で自動車を受けている。	固人へ補助金と ■税の減免を受 ない。③世帯で ③タクシー券	こして交付けていないで自動車税の受給を	。 い。 の減免を 受けていな	
11	エは未物 業剤		()	.006.7	(4未生	ъŒIJ.	J (110	7.7°。争伪里从"多V"未份" ————————————————————————————————————		き						
外出	支援サーと		**************************************					、労務等の諸事務を委託 法人グループ28)への	迁する	るための業	<u> </u>	利用料金の	支払い等。			
利用	者登録							請受付窓口・審査業務 先(NPO法人グルー)	_່	3) への送	付業額	殇、登録者 _'	への利用券発送	É業務		
利用!	実績事務			指	定業者	5先(N	1PO法	人グループ28) からも	事月 幸	服告される	利用領	実績の取り	まとめ業務			

Ⅱ 事業実績(DO)

	学未大根 (,									
1	事務事業コス	-			単位	令和元年度	と (実績)	令和2年	F度(実績)	令和3年度	(見込み)
			事業費(人件費除く。)		千円		724		766	960	
			人件費		千円		1,440		1,728	1,728	
	771	内	職員		人工 千円	0.2人	1,440	0.24人	1728	0.24人	1,728
	コスト	訳	会計年度任用職員等	会計年度任用職員等							
			総コスト		千円		2,164		2,494		2,688
		市民	1人当たり(R3.3.31時点)		円		20		23		25
			国·県支出金		千円						
			起債		千円						
	財源内訳	受益者	皆負担額(負担金、使用料、手数米	以実費)	千円						
	その他特財				千円						
			一般財源		千円		2,164		2,494		2,688
				目標値	人		35		36		37
		登録	者数	実績値	人		36 37				
	江东北七井西			%		102.9 102.8				0.0	
2	活動指標			目標値	件		432 300			300	
		利用的	牛数	実績値	件		293	293			
				達成度	%		67.8		97.7		
				目標値	枚		2,592		2,526		1,800
	成果指標	利用	枚数	実績値	枚		1,462		1,540		
2	数値化が困			達成度	%		56.4		61.0		0.0
3	難な場合はそ の理由も記			目標値							
	載)			実績値							
				達成度	%						

事業の評価(CHECK) 事務事業名 黒保根支所在宅高齢者等外出支援サービス事業 どのような成果と効果が得られたか、可能な限り定量的に示す。また、評価に対する説明を分かりやすく記載する。 А 【有効性】 桐生市・みどり市公共交通空白地有償運送支援事業と密接に関わる事業として、行われていることか 過疎地域という地域の特性もあり、今後、人口減少や高齢化率の高い本市の状況を考慮しながら、他市 ・ 得られた成果と効果を記載 の状況も踏まえて検討したい。 (成果指標の達成度に対する評価 及び過去との比較検討も含めて) R 【効率性】 公共交通機関を利用することが非常に困難な地域性を考慮すると、高齢者・障がい者が安心できる生活の確 保として、行政が、利用者へ係る費用の一部を支援して、住民の方が外出しやすくなるので、実に有効な事 業である。 費用対効果の面から記載 А この事業を担う、NPO法人グループ28の構成員の高齢化が進んでいるため、世代交代が今後の課題であ 【必要性】 る。 また、 この事業を行う運転手も高齢化が進んでおり、今後、運転手不足が考えられるので、早めの運転手 事業を継続することの意義、 確保が必要である。 見込み数の変動等を記載 最近特に問題となっている高齢者による交通事故防止のためにも、運転免許証の返納につなげていきた (事業の将来への見通し及び 事業推進に当たっての課題等) 【公平性・ 透明性】 受益者負担は発生しない事業であるが、サービスを受けるための条件が、高齢者の場合は年齢・介護認 定状況・課税状況・タクシー券の受給の有無、自動車税の減税の有無・他法による通院費補助の受給の有無 公平性が確保されているか、 であり、障害者の場合にも前述の加え、障害者手帳の等級が1.2級となっており、何れも生活が困難となっ 受益者負担は適切か、積極的に情報公開がされているかなどに ている人が対象となっている。 ついて記載 【優位性・ Α 独自性】 県内では、比較的福祉タクシーとして基本料金分を補助する形態が多い中、館林市が、市内全域の高齢者や 障がい者と母(父) 子の方を対象として、利用券(500円/1枚)年間36枚を限度として交付している。 また、伊勢崎市においては、市内全域の高齢者を対象にタクシー利用券(400円/1枚)を年間24枚を限 他の自治体(同様事業含む)との比較 及び優位性・独自性があれば記載 度として交付している。みどり市が行う福祉タクシー(障害者)、高齢者福祉タクシー券助成事業が受給要 ※「前橋市、高崎市、伊勢崎市、 件、金額(28800円)共に近い制度になっている。 みどり市」の状況に ついては、可能な限り記入する。 【その他(特記事項)】 ※書面審査を行う上で、説明して おくべき事項を記載 例:補助金の交付における補助対象 事業の総事業費など A:適切である。(既に必要な見直しを行っている場合を含む。) B: 概ね適切であるが、改善の余地はある。 C:見直しが必要である。 昨年度フォローアップ調査結果(CHECK) 最終評価結果 最終評価結果に対する具体的な改善内容等(担当課意見) 和 現在、桐生市・みどり市公共交通空白地有償運送支援事業と密接に関わる事業 現状のまま維持 として、行われていることから、過疎地域という地域の特性もあり、今後、人 口減少や高齢化率の高い本市の状況を考慮しながら、他市の状況も踏まえて検 現状のまま 執行方法等の工夫・見直し 年 縮川 維持 討したい。 終了 事務事業の改善(ACTION・PLAN) 改善点・見直し(案)等 今後の方向性 担 金銭的また身体的に困っている方のための補助であり、交通に不便な土地であ 次三 現状のまま維持 現状のまま ることから現状のまま維持が妥当と思われる。 執行方法等の工夫・見直し 縮小 維持 終了

- 📻	今後の方向性	意見
一次評価)	現状のまま維持 執行方法等の工夫・見直し 縮小 終了	過疎地域の特性を理解した活動であり、利用率も高く、今後も必要性があると思われる。事業継続のため、対象者の条件については近隣他市の状況を確認し見直しを図られたい。

最	今後の方向性		意	見
終評価	現状のまま維持 執行方法等の工夫・見直し 縮小 終了	執行方法等 の工夫・見 直し	二次評価	西のとおり

	ヤヤン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン											
1	事業の位置付け	と概要				整理番号		78				
1事務	事業名 黒保根支所公	共交通空白地:	有償運送	支援事業		担 部・局 課・所・室 係(担当)	地 域 振 黒保根支 市 民 サ	所市民生	E活課			
2 予算	算科目 3 款 2	2 項 1		6 根拠法令等(主	なもの)	7 第六次総合計	画での位置付け (基本計画)	0			
3 事業	業期間 平成17 年度	から	年度まで	道路運送法		8 総合戦略へ	の掲載					
4 事	8分類 法定受託事務	努 〇 自 治	1事務	桐生市黒保根町公共交通空白地	有償運送支援事業補助金交付	9 市長公約で	の位置付け	無	No			
5 国	具補助											
		誰	何を(対	対象)		どのような状	態にしたいか(意図)				
	目的 桐生市黒保根町 り運転できない より、公共交通	Iに住所を有し、自動車運)方で、身体の状況、バス 動機関を利用できない者。	転免許を有し な停・駅までの	ない方及び有していても、何ら 距離及び利用時間と時刻表の相	かの理由によ NPO法人グル 設等の理由に をし、公共交 段を確保する	レープ28が黒保根町及びみどり 通空白地における町内及び町。	の市東町で行っている公共3 外への移動手段を持たない、	交通空白地有値 、障がい者・2	能運送に対し補助 高齢者等の移動手			
	方法 直	接実施 委	託·指定管	管理 〇 補助金	貸付	その他 ()			
事業概要	補助金交付額 1,48支出内訳 事業活法人科	ことから、NPO Oに対して運営 ジタクシーとの Bに補助を行いる 人グループ28 シーについては、 つる料金の収受、 法人グループ28 8,084円 5動経費 697 ん 40	法人グル 費を補助 利用料金 支援してい が本事業 、配車、 8 ,240円),700円	ループ28が実施主体 けている。また、 の統一を図るため、 いる。 に使用している車 台で運行を行い、選 労務等を行うNPO 事務所経費 車両経費	本となり、ドア・ 利用料金は1キロ 町内運行に限り 両の老朽化に伴い 記行範囲が町内に「 法人グループ28・ 41,118円 668,151円	ツー・ドアで町内 あたり100円とい 、一律片道300円 い(H17登録車)、 限定されているこの へ支援し、公共交 事務所消耗品 安全運転管理費	、町外への運行を う形で距離数に で利用できるよ 車両の更新を行 とから、引き続き 通空白地有償運送	を行って 基づき あっに実施 い貸与 きこの事 送事業の	いるた 別用者が負 5主体であ した。 業を推進し			
11		くうな業務を行 [、]	っている	か。事務量が多い賞								
	業務名	利田料全の	12会 形成	車、労務等の諸事務	業務内容 ※を支援するため							
公共?	交通空白地有償運送業務			美人グループ28) ^			ハ等。					
利用	者登録	・受付書類の	補助事業	請受付窓口業務。 先(NPO法人グル・								
運営	劦議会	桐生市・みる関係諸機関る		疎地有償運送運営協 業務。	協議会の事務局業	務。 						
輸送	実績集計事務	補助事業先(N	NPO法人	グループ28)から	毎月報告される	輸送実績の取りま	とめ業務。					

|| 事業実績(D0)

車両購入事務

	于木大快 \	,									
1	事務事業コスト	<u> </u>			単位	令和元年度	(実績)	令和2年	度(実績)	令和3年度	(見込み)
			事業費(人件費除く。)		千円	_	3,486		1,488		1,743
			人件費		千円		2,160		1,440		1,440
	¬¬.	内	職員		人工 千円	0.3人	2,160	0.2人	1,440	0.2人	1,440
	コスト	訳	会計年度任用職員等	F	人工 千円		0		0		0
			総コスト		千円		5,646		2,928		3,183
		市民	1人当たり(R3.3.31時点)		円		52		27		30
			国·県支出金		千円						
			起債		千円		3,100		1,400		1,600
	財源内訳	受益者	皆負担額(負担金、使用料、手数料	、実費)	千円						
	その他特財				千円						
			一般財源		千円		2,546		1,528		1,583
				目標値	人		170		170		180
		登録	者数	実績値	人		169		174		
	江手+15+西			達成度	%		99.4		102.4		0.0
2	活動指標			目標値							
				実績値							
				達成度	%						
				目標値	件		750		720		800
	成果指標	町内和	利用件数	実績値	件		720		754		
3	数値化が困			達成度	%		96.0		104.7		0.0
3	難な場合はそ の理由も記			目標値							
	載)			実績値							
				達成度	%						

車両購入のための発注、検収確認業務。

事業の評価(CHECK) 事務事業名 黒保根支所公共交通空白地有償運送支援事業 どのような成果と効果が得られたか、可能な限り定量的に示す。また、評価に対する説明を分かりやすく記載する。 А 【有効性】 黒保根町は、広範囲に住宅が点在し、デマンドタクシーの運行時間がかかり、町民がすぐに利用できない ことがある。また、デマンドタクシーは、運行範囲が町内に限られているため、町外へも利用できる交通機関とともに。町内移動としてデマンドタクシーの補完的な役割として、公共交通空白地有償運送事業を実施していることは、高齢者等の交通手段としての利便性向上に役立っている。 ・得られた成果と効果を記載 (成果指標の達成度に対する評価 及び過去との比較検討も含めて) R 【効率性】 公共交通機関を利用することが困難な地域性を考慮すると、高齢者・障がい者が安心できる生活の確保として、運行事業者であるNPO法人グループ28へ、行政が係る運営費用を支援することは、高齢者等の交通 手段としての利便性向上に役立っているため、引き続き支援を行っていく必要がある。 費用対効果の面から記載 А 【必要性】 高齢者世帯の多い黒保根町においては、玄関先から目的地まで乗り継ぎなく直接利用できる公共交通空白 地有償運送は有効である。この事業を存続させるためにも、引き続き支援を実施する必要がある。 事業を継続することの意義、 また、この事業を行う運転手も高齢化が進んでおり、今後、運転手不足が考えられるので、早めの運転手 見込み数の変動等を記載 確保が必要である。 (事業の将来への見通し及び 事業推進に当たっての課題等 【公平性・ 透明性】 町内運行についてはデマンドタクシーとの利用料金の統一を図っている。黒保根町外利用については運行 距離により受益者負担を求めている。 公平性が確保されているか、 適正な運営の確保をするため、みどり市と共同して公共交通空白地有償運送運営協議会を設置している。 受益者負担は適切か、積極的に また協議会の開催結果はホームページで公開している。 情報公開がされているかなどに ついて記載 【優位性・ А 独自性】 県内でNPO法人等が公共交通空白地有償運送を運営している事例は①中之条町六郷地区(中之条町社会 他の自治体(同様事業含む)との比較 福祉協議会)、②神流町(神流町社会福祉協議会)、③高崎市倉渕地区(高崎市社会福祉協議会)の3地区 及び優位性・独自性があれば記載 である。 ※「前橋市、高崎市、伊勢崎市、 太田市、みどり市」の状況に ついては、可能な限り記入する。 【その他(特記事項)】 ※書面審査を行う上で、説明して おくべき事項を記載 例:補助金の交付における補助対象 事業の総事業費など A:適切である。(既に必要な見直しを行っている場合を含む。) B: 概ね適切であるが、改善の余地はある。 C:見直しが必要である。 昨年度フォローアップ調査結果(CHECK) 最終評価結果 最終評価結果に対する具体的な改善内容等(担当課意見) 和 過疎地域の交通手段として特に高齢者にとって必要性の高い事業であることか 現状のまま維持 執行方法等 ら、補助対象経費の精査を行いつつ、事業実施者の自立も視野に入れながら、 執行方法等の工夫・見直し の工夫・見 ||共同支援団体であるみどり市側とも調整を図って事業を継続していきたい。 年 縮小 直し 終了 事務事業の改善(ACTION・PLAN)

できる。 現状のまま維持 現状のまま維持 執行方法等の工夫・見直し 縮小 終了		今後の方向性		
	一担次当	執行方法等の工夫・見直し	執行方法等 の工夫・見	密接に関わる事業として行われていることから、過疎地域という地域の特性もあり、今後、人口減少や高齢化率の高い本市の状況を考慮しながらも、事業実施業者である、NPO法人グループ28からの請求費用等の中身について、今まで

	今後の方向性		意	見	
次評価	現状のまま維持 執行方法等の工夫・見直し 縮小 終了	執行方法等 の工夫・見 直し	事業の存と連携し	i動性について確認し、 ∪ながら補助金額の適Ⅱ	補助対象経費の見直しを図ると共に、みどり市 E化を図られたい。

180	今後の方向性		意	見
終評価	現状のまま維持 執行方法等の工夫・見直し 縮小 終了	執行方法等 の工夫・見 直し	二次評価	面のとおり

		7	PTL			, (77 TU 4		女 /1 /	715	J_E 1 7 =	F 173	于大心	口叶巡赤				
1	事業の)位記	置付	116	概要	Ī						3	整理番号	79				
1 事務	事業名	黒保村	艮支所	「高齢f	者リス	フレッ	シュ事業	Ě				担当	部·局 課·所·室 係(担当)	地 域 振 興 整 備 局 黒保根支所市民生活課 市 民 サ ー ビ ス 係				
2 予算	算科目	3	款	2	項	2		6 根	処法令等((主なもの))	7 9	7 第六次総合計画での位置付け(基本計画)					
3 事業	美期間	平成3	3O	年度から	ò		年度まで	桐生市界	黒保根支所高齢	者リフレッ	シュ事業実施要	要綱 8 #	8 総合戦略への掲載					
4 事剂	8分類	法	定受託	事務	0	自	治事務					9 i	9 市長公約での位置付け No					
5 国	具補助																	
						誰	何を()	対象)				تے	のような状	態にしたいか(意図)				
	目的		黒保村	艮町地[区に存	E住の6	60歳以上	の高齢	诸		黒保根をの場とし			D閉館に伴い、新たな高齢者の憩い				
	方法	ž		直接	実施	O 季	を託・指定管	管理	補助金	賃	讨付	その)他 ()				
要	提供水、令、支表の一次では、一次では、一次では、一次である。 でき でき でき でき きょう かいかい かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい かいが	もの。 温泉の 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	2ンタ 交流い 用しや ナア3,0	ーを運 場のみ では、i すい環 いすが総 OOO円	望営すべではないでは、前年野境ででは、 ・では、前年野境では、 ・では、一では、一では、 ・では、このでは、 ・では、このでは、 ・では、このでは、 ・では、このでは、 ・では、このでは、 ・では、 ・では、 ・では、 ・では、 ・では、 ・では、 ・では、 ・	るなに引いています。	/テディオ 高齢者の き続き市の ため、張 が会社 施設等借り	総合企 閉じこ のホー り紙や り上げ*	画株式会社 もり予防等 ムページへ 案内の配社 料 4,600	社へ委託 等の対策 への掲載と 市にて利 の,000円	しており、 か見守りと 、「在宅記 日者へのマ 送迎(デ	送迎、 しても 高齢者 オー啓 マンド	入浴、個室 幾能してい a祉ガイド」 発を行った。	によるさらなる周知を行った。				
11	主な業務 業務		()	のよう	び業績	労を打	10 (NO	い。事	務量が多い	ハ茉狩と	業務内容を							
委託		<i>5</i>		委	託契約	 約事務	 :、実績資	料の確	認、委託米	料金の支持		.,,,,,	当示等 指示等					
	デマンドタクシー乗車証明書 の作成							証明書	の作成、沿	8田屋夕2	フシーへの	送付						

	于木大快	,									
1	事務事業コス	-			単位	令和元年度	(実績)	令和2年	度(実績)	令和3年度	(見込み)
			事業費(人件費除く。)		千円	5,473			5,089		5,494
			人件費		千円		1,368		792		792
	¬¬.	内	職員		人工 千円	0.19人	1,368	0.11人	792	0.11人	792
	コスト	訳	会計年度任用職員等	Ē	人工 千円		0		0		0
			総コスト		千円	,	6,841		5,881		6,286
		市民1	1人当たり(R3.3.31時点)		円		64		55		58
			国·県支出金		千円						
			起債		千円	5,200 5,000					5,300
	財源内訳	受益者	皆負担額(負担金、使用料、手数米	以実費)	千円						
			その他特財		千円						
			一般財源		千円		1,641		881		986
				目標値	人		10,000		12,000		6,500
		施設和	施設利用者数実績値				11,878		6,176		
0	江东北七井西			達成度	%		118.8		51.5		0.0
2	活動指標			目標値	人		1,575		3,100		1,800
		デマン	ンドタクシー利用者数	実績値	人		3,015		1652		
				達成度	%		191.4		53.3	3 0.0	
				目標値	人		10,000		12,000		6,500
	成果指標	施設和	利用者数	実績値	人		11,878		6,176		
3	(数値化が困 難な場合はそ			達成度	%		118.8		51.5		0.0
3	無な場合はての理由も記			目標値	人		1,575		3,100		1,800
	載)	デマン	ンドタクシー利用者数	実績値	人 %		3,015		1,652		
			達成度				191.4		53.3		0.0

Ⅲ 事業の評価(CHECK) 事務事業名 黒保根支所高齢者リフレッシュ事業 どのような成果と効果が得られたか、可能な限り定量的に示す。また、評価に対する説明を分かりやすく記載する。 【有効性】 В 新型コロナウイルスの影響により営業できない期間が多くあり、利用者数が当初の見込みを下回った。 お、今後も利用を望む利用者の意見が委託先及び支所に多く寄せられており、利用者からも好評を得てい ・ 得られた成果と効果を記載 る。 (成果指標の達成度に対する評価 及び過去との比較検討も含めて) R 【効率性】 当事業は水沼駅温泉センターを運営しているモンテディオ総合企画株式会社へ直接事業を委託しており、入 浴・個室利用・送迎等を個別に契約することに比べ、高齢の利用者にも容易に利用することができ効果的で ある。 費用対効果の面から記載 А 【必要性】 施設利用者は増加しており、黒保根地区に在住する高齢者の貴重な交流の場のみではなく、高齢者の閉じこ 事業を継続することの意義、 もり等予防の対策としても機能している。 見込み数の変動等を記載 また、施設運営の安定化により黒保根地区全体の活性化が期待される。 (事業の将来への見通し及び 事業推進に当たっての課題等) 【公平性• 透明性】 デマンドタクシーの利用により車等の移動手段を持たない方にも、移動の負担の差なく利用できるよう配慮 公平性が確保されているか、 している。 受益者負担は適切か、積極的に情報公開がされているかなどに また、ホームページや町内回覧、「在宅高齢者福祉ガイド」等に記載することで事業の周知を図っている。 ついて記載 【優位性・ А 独自性】 他の自治体(同様事業含む)との比較 黒保根地区における独自事業。同様事業がないため、比較はしていない。 及び優位性・独自性があれば記載 ※「前橋市、高崎市、伊勢崎市、 太田市、みどり市」の状況に ついては、可能な限り記入する。 【その他(特記事項)】 ※書面審査を行う上で、説明して 平成30年10月15日により事業開始。 おくべき事項を記載 例:補助金の交付における補助対象 事業の総事業費など A:適切である。(既に必要な見直しを行っている場合を含む。) B: 概ね適切であるが、改善の余地はある。 C:見直しが必要である。 昨年度フォローアップ調査結果(CHECK) 最終評価結果 最終評価結果に対する具体的な改善内容等(担当課意見) 和 対象者の年齢引き上げの検討や安定的な利用者確保の材料とするため、実利用 現状のまま維持 者の調査を行った。R3年度は周知期間として今後対象者の年齢引き上げを検討 執行方法等の工夫・見直し 縮小 していく。受益者負担については新里福祉センターとも調整して進める必要が 年 縮小 ある。 終了 事務事業の改善(ACTION・PLAN) 改善点・見直し(案)等 今後の方向性 担 黒保根地区の高齢者に対する憩いの場として適切な施設利用を行うため、今後 も利用者等の意見を参考に、当事業の運営について検討していく必要がある。 また、令和4年度より対象者の年齢を65歳以上に引き上げを行うため、令和3年 次課 執行方法等 現状のまま維持 執行方法等の工夫・見直し の工夫・見 縮小 度中はその周知期間として準備を進めている。 直し 終了 今後の方向性 利用者数増加や利用を望む声から、本事業の有効性は確認できる。対象年齢の 引き上げに向け、十分な周知を行うよう図られたい。なお、受益者負担につい 現状のまま維持 執行方法等 執行方法等の工夫・見直し 評評 の工夫・見 ても、新里福祉センターと調整し、4年度の年齢引き上げのタイミングで適正 縮小 な金額が設定できるよう、計画的に検討されたい。 直し 終了 今後の方向性 次評価のとおり 現状のまま維持 執行方法等

執行方法等の工夫・見直し

縮小

終了

の工夫・見

直し

I	事業	にの位置	置付	けど梢	既要						整理番号		80		
1事務	事業名	黒保村	很支列	「過疎 文	対策事	業					担課・所・室 係(担当)	黒保根支	振 興 整 5所地域振 : 振	興整備課	
2 予算	草科目	2	款	11	項	1	B	6 根拠法令等(主なも	ത)		7 第六次総合語	計画での位置付け	(基本計画)	0	
3 事業	能期間	平成10	D年	年度から			年度まで	過疎地域自立促進特別	別措	置法	8 総合戦略への掲載				
4 事	多分類	法	定受語	毛事務	0	自治	事務	桐生市過疎地域定住	条例	9 市長公約で	での位置付け	無	No		
5 国	具補助														
		⊐ 65				誰•	何を(対象)			どのような	犬態にしたいか	(意図)		
	E	目的	黒保	根町住民	€					流失の防止					
	7	方法		直接第	€施	委	託·指定管	管理 O 補助金	t	その他()		
事業概要	業 │ ア 結婚祝金											50万円			
11		養務内容業務名	(2	このよう	は業務	を行う	っている	か。事務量が多い業務を		D以内で記載 養務内容概要					
奨励	金交付			奨励	励金の)申請受	を付から	交付まで		ציאוים ביזועיצ	4				

|| 事業定績(DO)

	争耒耒稹(JU)									
1	事務事業コスト	-			単位	令和元年度	(実績)	令和2年	F度(実績)	令和3年度	(見込み)
			事業費(人件費除く。)		千円		544		0		550
			人件費		千円		720		504		864
	コスト	内	職員		人工 千円	0.1人	720	0.07人	504	0.12人	864
	コンル	訳	会計年度任用職員等	Ē	人工 千円		0		0		0
			総コスト		千円		1,264		504		1,414
		民市	1人当たり(R3.3.31時点)		円		12		5		13
			国·県支出金		千円						
			起債		千円						
	財源内訳	受益者	省負担額(負担金、使用料、手数料	斗、実費)	千円						
			その他特財		千円						
			一般財源		千円		1,264		504		1,414
				目標値	件		3				3
		交付的	牛数	実績値	件		5				
2	活動指標			達成度	%		166.7				0.0
_	/口到11日1小			目標値							
				実績値							
				達成度	%						
				目標値	世帯		3				3
	成果指標	定住誓約件数		実績値	世帯		5				
3	(数値化が困 難な場合はそ ************************************		達成度	%		166.7				0.0	
	の理由も記			目標値							
	載)			実績値							
				達成度	%						

事業の評価(CHECK) 事務事業名 黒保根支所過疎対策事業 どのような成果と効果が得られたか、可能な限り定量的に示す。また、評価に対する説明を分かりやすく記載する。 【有効性】 В 人口減少が進行する中、主に若い人たちを対象として、結婚・出産等の奨励金を交付することで、人口流出 ・ 得られた成果と効果を記載 の防止対策となっている。令和2年度については申請がなく、目標を達成することができなかった。 (成果指標の達成度に対する評価 及び過去との比較検討も含めて) А 【効率性】 費用対効果の面では、桐生市に定住することで、将来的には、住民税や固定資産税・軽自動車税等で還元さ れる。制度を維持することにより、人口の流出防止を図ることができていると思われる。 費用対効果の面から記載 А 【必要性】 黒保根地区は高齢化と人口減少が特に進んでいる地域になるが、それらを食い止めるためにも、本事業を継 事業を継続することの意義、 続することが重要であると思われる。 見込み数の変動等を記載 事業の将来への見通し及び 事業推進に当たっての課題等) 【公平性・ 透明性】 移住相談会等の場にチラシを配布。 町内においては公民館便りに掲載している。 公平性が確保されているか、 定住促進住宅の入居募集チラシ等に掲載。 受益者負担は適切か、積極的に情報公開がされているかなどに 今年度、広報へ掲載予定 ついて記載 【優位性・ Α 人口減少対策として同様の事業を実施している自治体は多いが、近隣と比較しても、充実した制度である。 独自性】 • 前橋市 住宅リフォームの助成を実施し、条件をみたしたものに対象工事費の3分の1、上限額10万円 を支給している。 • 高崎市 高崎市移住促進資金利子補給金制度を実施し、倉渕・榛名・吉井地域の人口減少対策の一環と して、同地域に移住・定住するための住居取得に際して受けた融資の利子5年分を全額補給する 「移住促進資金利子補給金」制度を実施している。また、令和3年度7月から住宅リフォームの 助成を実施し、条件をみたしたものに対象工事費の30%、 ・他の自治体(同様事業含む)との比較 上限額20万円を支給している。 及び優位性・独自性があれば記載 • 伊勢崎市 第3子以降出産祝金を実施し、児童1人につき10万円を支給している。また、住宅リフォーム ※「前橋市、高崎市、伊勢崎市、 太田市、みどり市」の状況に ついては、可能な限り記入する。 の助成を実施し、条件をみたしたものに対象工事費の30%、上限額10万円を支給している。 第3子以降出産祝金を実施し、児童1人につき10万円を支給している。また、住宅リフォーム 助成を実施し、条件をみたしたものに対象工事費の30%、上限額20万円を支給している。 太田市 の助成を実施し、 • みどり市 出産祝金を実施し、児童1人につき1万円と希望者に市産材のヒノキで作った名入りストラップ を支給している。また、住宅リフォームの助成を実施し、条件をみたしたものに対象工事費の 10%、上限額10万円を支給している。 【その他(特記事項)】 桐生暮らし応援事業と併せて情報公開することで黒保根地区の補助の優位性をPRでき、過疎対策につなが ※書面審査を行う上で、説明して ると思われる。 おくべき事項を記載 定住の誓約をしてもらうことにより、人口流出の防止につながっている。 例:補助金の交付における補助対象 事業の総事業費など A:適切である。(既に必要な見直しを行っている場合を含む。) B: 概ね適切であるが、改善の余地はある。 C:見直しが必要である。 昨年度フォローアップ調査結果(CHECK) I۷ 最終評価結果 最終評価結果に対する具体的な改善内容等(担当課意見) 和 既交付者275件について実態調査を実施した。なお、既存事業との統合や事業 自体の縮小については、実態調査を基に現在、検討中である。 現状のまま維持 執行方法等の工夫・見直し 縮小 年 縮小 終了 事務事業の改善(ACTION・PLAN) 今後の方向性 改善点・見直し(案)等 既存事業との統合や周知についてさらに検討し、事業の見直しを行い推進を図 次当課 現状のまま維持 執行方法等 りたい。 執行方法等の工夫・見直し の工夫・見 縮小 直し 終了 今後の方向性 黒保根地域への定住促進が目的であるが、実績がなく有効性が確認できない。 現状のまま維持 今後、市全体の人口減少対策に係る施策の検討を進めることになるため、黒保 執行方法等の工夫・見直し 終了 根地域のみに限定している事業については、廃止に向けて検討されたい。 縮小 終了 今後の方向性 旧桐生市も過疎地域に指定されたことにより、今後、市全体の人口減少対策に 係る施策の検討を進めることになるため、黒保根地域のみに限定した本事業に 執行方法等 現状のまま維持 執行方法等の工夫・見直し の工夫・見 ついては、令和5年度を目途として、同施策の検討と一体的に、廃止や事業の統 縮小

合を含めた見直しを図られたい。

直し

終了

					-	` •	J 1 L =			,-,-	. 73.	7 71	16 1	<i>D</i> 1 16	m >11		
1	事業の	位置	置付	けと#	無						Ŗ	整理番号				81	
1 事務	事業名 异	黒保村	艮支列	震業振	長興事	業					担当	部·局課·所·署	室		根支所均	興 整 也域振興 振 與	整備課
2 予算	算科目 (3	款	1	項	2		6 根拠法令等(主な	まもの)		7 笋	有六次総合	計画で	の位置作	すけ(基	本計画)	0
3 事	業期間	計和	2	年度から	令和	6	年度まで	特定農山村法			8 #	総合戦略	への掲	載			0
4 事	努分類	法定	主受託	事務	0	自治	事務	山村振興法			9 ī	市長公約	での位	置付け		無	No
5 国	県補助 国:	50%	6 県	: 25%	, D			過疎地域自立促進	特別措	置法							
						誰•	何を(対象)			تع	のような	状態に	したい	か(意	(図意	
	目的						山間地域でいくる	域等において、集落等 こと		農用地の適 備	正な	管理を維	持し、	生産活	5動継	続のた	めの体制整
	方法			直接集	施	委	托·指定管	管理 〇 補助金	貸付	t	そ0)他 ()
事業概要	業 対象行為:耕作放棄の防止等を内容とする集落協定等に基づき、5年以上継続される農業生産活動等の取組み 概 交付単価:急傾斜地 21円/㎡																
11	主な業務(業務)		(2	のよう	よ業務	さ行:	っている	か。事務量が多い業績		D以内で記載 養務内容概要	.,,,						
集落	-11407			集落	喜にお	ける島	農用地の	維持管理の取決めや流				上集落に	おいて	協定を	締結す	る。	
補助:	金申請・交	付		фι	山間地	域等區	接支払	交付金申請及び集落/	への交付	寸事務							
現地	確認作業							の現地確認業務									
集落	指導			集落		ける記	5動計画	や書類作成の指導、る	催認業 剤	8及び集落の	の将え	来像を見	居えた	集落戦	略作成	えのため	りの協議や

	学未大根 (,									
1	事務事業コスト	-			単位	令和元年度	(実績)	令和2年	度(実績)	令和3年度	(見込み)
			事業費(人件費除く。)		千円		5,683		5,294		5,294
			人件費		千円		1,800		1,872		1,872
	771	内	職員		人工 千円	0.25人	1,800	0.26人	1,872	0.26人	1,872
	コスト	訳	会計年度任用職員等	Ē Ē	人工 千円		0		0		0
			総コスト		千円		7,483		7,166		7,166
		市民	1人当たり(R3.3.31時点)		円		70		67		67
			国·県支出金		千円		4,262		3,970		3,970
			起債		千円		1,400		1,300		1,300
	財源内訳	受益者	皆負担額(負担金、使用料、手数料	以実費)	千円						
			その他特財		千円		21		23		23
			一般財源		千円		1,800		1,873		1,873
				目標値	m [‡]	4	140,168		412,853		412,853
		協定	農地面積	実績値	m [*]	4	140,168		412,853		412,853
	江手+15+西			達成度	%		100.0		100.0		100.0
2	活動指標			目標値							
				実績値							
				達成度	%						
				目標値	m [‡]		0		0		0
	成果指標	荒廃	農地面積	実績値	m [*]		0		0		0
2	数値化が困			達成度	%		#DIV/O!		#DIV/O!		#DIV/O!
3	難な場合はそ の理由も記			目標値							
	載)			実績値							
				達成度	%						

Ш	事業の評価(CHECK)				事務事業名	黒保根支所農業振興事業
	どのような成果と効果が得ら	られたか、可能な限り)定量的に示す	す。また、評価に対す	る説明を分かりやす	く記載する。
• 得 · (成)	京効性】 A			iされ、用水路の補修素 の活用や保全管理が修		
	国対効果の面から記載	国及び県費で75%の	の補助率に加。	え、過疎債の利用によ	り市の負担が抑えら	れ、費用対効果は高い
• 事美 見 (事美	経要性】	 協定内容で5年間の い手不足により、減			りでも計画的な活動が	が実施されているが、高齢化や担
· 公平 受益 情報	条件・ 医明性】 B 呼性が確保されているか、 益者負担は適切か、積極的に 般公開がされているかなどに いて記載	活動内容や集落の特 毎年度、実績報告書 受益者負担はない。		:は判断できない。 透明性は確保されてい	13.	
独 ・他の 及び ※「前 太	優位性・ 田自性】 B 日治体(同様事業含む)との比較 ア優位性・独自性があれば記載 り橋市、高崎市、伊勢崎市、 (田市、みどり市」の状況に りいては、可能な限り記入する。	太田市 : 0	7千円 千円)千円)千円 千円	刊 桐生市:5,294 、特に優位性や独自性		
※書面 おく 例:補 事	の他(特記事項)】 町審査を行う上で、説明して くべき事項を記載 朝助金の交付における補助対象 事業の総事業費など	5年間継続事業(R2 補助率:国50%、 市費の確保に過疎債	₹25% が利用できる	00		
B:村 C:身	適切である。(既に必要な見 既ね適切であるが、改善の余 見直しが必要である。	地はある。				
	昨年度フォローアップ	調査結果(CHE		ᆥᆒᄷᄜᅝᆏᅻᄀᄝ	+ 约专业美中南等(+	口小钿辛日)
令和2年度	最終評価結果 現状のまま維持 執行方法等の工夫・見直し 縮小 終了	》 R2評 未実施	(tt	《評価結果に対する具体	4的及以普内各等(f	旦当味息免力
٧	事務事業の改善(AC	TION · PLAN)				
一	今後の方向性			点・見直し(案)等		
次評価)	現状のまま維持 執行方法等の工夫・見直! 縮小 終了	ラ 現状のき 維持	まま がる。	おける本事業は有効で	であり、継続すること	とにより、農業生産活動につな
	今後の方向性		意			
二次評価)	現状のまま維持 執行方法等の工夫・見直し	ラップ 現状のる 維持	まま	証に行い、不利・偏り		ョしている。書類確認や現地調 動につなげるよう、今後も継続
	今後の方向性		意	見		
最終評価	フ俊の川回性 現状のまま維持 執行方法等の工夫・見直し 縮小 終了		まま	飛信のとおり		

				_		` -	•	- 110010,		•		• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •				
1	事業(の位は	置付	けど札	雅						I K	整理番号			82	
1 事務	事業名	黒保村	根支所	「商業 扱	長興事	業					担当	部·局 課·所·室 係(担当)			興 整 備 地域振興整 振 興	
2 予算	科目	7	款	1	項	1	B	6 根拠法令等(主なす	もの)		7 笋	第六次総合計	画での位置	付け(書	基本計画)	0
3 事業	美期間	平成2	27	年度から			年度まで	桐生市黒保根商工会社	甫助슄	会交付要綱	8 8	総合戦略へ	の掲載			
4 事剂	多分類	法	定受訊	事務	0	自治	事務				9 ī	市長公約で	の位置付け	ţ	Ν	10
5 国	具補助															
						誰•	何を(対象)			سلے	のような状	態にしたい	ハか(意図)	
	∃É	מ	黒保村	限町内の	事業	者				地域産業の)振興	以び小規模	事業者の	支援		
	方法	去		直接実	€施	委	托·指定管	管理 〇 補助金	貸付	र्ग	その	70他 ()
事業概要	業 ○令和2年度桐生市黒保根商工会補助金 既 ・総事業費 22,710,167円															
11			ظ)	のようだ	な業務	を行っ	っている	か。事務量が多い業務		つ以内で記 業務内容概要						
カボ ロカィ	業務名							のなけれ中・押祭せい		110001 0 20 11102		短性木の ご	キの光 琴			
ĦIJs	金交付業務補助金交付申請受							の文刊 决止・ 懺昇払い 	• т.	」報言文理	• 音第	明有省の一)	里切耒務			

<u> </u>	尹未天祺(ן טע									
1	事務事業コス	-			単位	令和元年度	(実績)	令和2年	度(実績)	令和3年度	(見込み)
			事業費(人件費除く。)		千円		4,800		4,800		4,800
			人件費		千円		792		792		792
	コスト	内	職員		人工 千円	0.11人	792	0.11人	792	0.11人	792
	171	訳	会計年度任用職員等	F	人工 千円		0		0		0
			総コスト		千円		5,592		5,592		5,592
		市民	1人当たり(R3.3.31時点)		円		52		52		52
			国·県支出金		千円						
			起債		千円						
	財源内訳	受益者	5負担額(負担金、使用料、手数料	、実費)	千円						
			その他特財		千円						
			一般財源		千円		5,592		5,592		5,592
				目標値	人		65		65		65
		商工名	会会員数	実績値	人		61		58		
2	活動指標			達成度	%		93.8		89.2		0.0
_	/口到1日1宗			目標値			10		10		10
		講演記	会•講習会開催数	実績値			8		4		
				達成度	%		80.0		40.0		0.0
		∕⊠∺t	指導員及び経営支援員によ	目標値	件		600		600		600
	数値化が困		石号貝及U柱呂又抜貝によ 談指導件数	実績値	件		706		863		
3		ייייי	MIGGII W	達成度	%		117.7		143.8		0.0
J	の理由も記			目標値							
	載)			実績値							
				達成度	%						

Ш	事業の評価(CHECK)			事務事業名	黒保根支所商業振興事業
	どのような成果と効果が得ら	られたか、可能な限り定量	的に示す。また、評価に対する	る説明を分かりやす	く記載する。
• 得 · (成)	が性】		黒保根町内小規模事業者の現り 光対策事業も実施しており、6		・講演会開催、経営相談指導等に 也域活性化に貢献している
	国卒性】 日対効果の面から記載	黒保根地域の商工行政円)	骨化や地域活性化に多大に貢南	状しているため、補 眼	か金の効果は高いと考える
• 事美 見 (事美	イ要性】	 黒保根地域の商工円滑化 [*] 	や地域振興に商工会事業は重要	更であるため、効率的	りな運営を行ってもらう
· 公平 受益 情報	条甲性・ 医明性】	市・県等の補助金、各種	手数料収入のほか、商工会員だ	から会費を徴収し事業	美運営を行っている
独 ・他の 及び ※「前 太	位性・ 自自性】 自治体(同様事業含む)との比較 優位性・独自性があれば記載 橋市、高崎市、伊勢崎市、 に田市、みどり市」の状況に いては、可能な限り記入する。	県内43商工会に、各市6	町村で補助を行っている		
※書面 おく 例:補 事	の他(特記事項)】 国審査を行う上で、説明して べつき事項を記載 制助金の交付における補助対象 事業の総事業費など	• 補助金額 4,80	10, 167円 00, 000円		
B:ホ	適切である。(既に必要な見 既ね適切であるが、改善の余 見直しが必要である。		主 む。)		
IV	昨年度フォローアップ	調査結果(CHECK)			
令	最終評価結果		最終評価結果に対する具体	本的な改善内容等(持	旦当課意見)
和2年度	現状のまま維持 執行方法等の工夫・見直し 縮小 終了	R2評価 未実施			
V	事務事業の改善(AC	TION · PLAN)			
一	今後の方向性		改善点・見直し(案)等		
一次評価	現状のまま維持 執行方法等の工夫・見直し 縮小 終了	執行方法等 の工夫・見 直し		を的な事業実施を行 ^っ	ってもらう。
	今後の方向性		意見		
二次評価)	現状のまま維持 執行方法等の工夫・見直し 縮小 終了	執行方法等 の工夫・見 直し	相談・指導を通して小規模	近隣他市の補助状況	ていることが窺えるが、商工会 兄と比較した上で、現在の補助
	<u></u>		意見		
最終評価	今後の方向性 現状のまま維持 執行方法等の工夫・見直し 縮小 終了	執行方法等 の工夫・見 直し	二次評価のとおり		

			10 1 -		-	\ •	- 1	- - 	11 7=		<i>J 1</i> J.	3 71 11 10			•		
L	事業(の位	置付	けと権	垂						T P	整理番号			83		
1事務	事業名	黒保	根支克	fまつり	事業						担当	部·局 課·所·室 係(担当)		域 振 根支所 業	興整地域振興振 興		
2 予算	章科目	7	款	1	項	5	B	6 根拠法令等(主	なもの)		7 笋	第六次総合計	画での位置	付け(基本計画)	(С
3 事第	詳期間	平成	17	年度から			年度まで	くろほね夏まつり開催	事業費補	助金交付要綱	8 8	総合戦略へ	の掲載				
4 事剂	务分類	法	定受記	毛事務	0	自治	事務				9 ī	市長公約で	の位置付け	ţ		No	
5 国原	具補助																
						誰•	何を(対象)			تلے	のような状	態にしたい	1か (意図)		
	目的	J	くろ	まね夏ま	うり					継続							
	方法	失		直接実	施	委記	託·指定管	管理 〇 補助金	貸付	ਹ	その	D他 ()
業概要		_	新型二	ロナウ	イルス	感染拡	太大防止	され、市内外より多のため中止									
11	主な業務		كغ)	このような	な業務	を行っ	っている	か。事務量が多い業									
		務名_		4-4-0	њ ^ 	/ ==	± ₩ 14.44			業務内容概要			± 0.247				
補助3	金交付事			(相)	リ金父	切甲請	受付後	の交付決定・概算払 	101・元.	了報告受理·	• 書 3	領精査の一:	里の業務				

	学未大根 (,									
1	事務事業コス	-			単位	令和元年度	(実績)	令和2年	度(実績)	令和3年度	(見込み)
			事業費(人件費除く。)		千円		2,500		0		0
			人件費		千円		792		720		720
	コスト	内	職員		人工 千円	0.11人	792	0.1人	720	0.1人	720
	コスト	訳	会計年度任用職員等	F	人工 千円	0人	0	0人	0		0
			総コスト		千円	<u>.</u>	3,292		720		720
		市民	1人当たり(R3.3.31時点)		円		31		7		7
			国·県支出金		千円						
			起債		千円						
	財源内訳	受益者	皆負担額(負担金、使用料、手数料	、実費)	千円						
			その他特財		千円						
			一般財源		千円		3,292		720		720
				目標値			2		2		
		開催E	∃数	実績値			2		0		
2	注 sh tic tim			達成度	%		100.0		0.0		
_	活動指標			目標値							
				実績値							
				達成度	%						
				目標値	人		3,500		3,500		
	成果指標	来場	者数	実績値	人		3,800		0		
3	(数値化が困 難な場合はそ			達成度	%		108.6		0.0		
3	が理由も記			目標値		•					
	載)			実績値							
				達成度	%						

Ш	事業の	評価(CHECK)						事務事業名	黒保根支所まつり事業
	どのよう	な成果と効果が得	られたか、	可能な限り定量的	りに示す。	また、	平価に対するii	説明を分かりやす	すく記載する。
【有	剪効性】	В	E /0 +0 +1	htt 早 士 の ノ が ン , L	75 K	回左タノ	の女担老がち	7 #t ht	
(成	果指標の達成	と効果を記載 対度に対する評価 較検討も含めて)		B以販人のイベノト ご、黒保根町の活性				16. J.C. 17.C	らせ渓谷鐵道の臨時列車も運行さ
【交	加率性】	Α	Ī						
• 費/	用対効果の)面から記載	市補助金	3のほか、協賛金な	どを財源	に開催し	、黒保根町の	活性化に寄与し	rtna
【业	必要性】	Α							
見事	込み数の3 業の将来への	ることの意義、 変動等を記載 0見通し及び っての課題等)	地域の活	5力源や観光資源と	:なってお	り、地域	活性化に寄与	している	
	3平性• 5明性】	Α							
受益情報	益者負担は道	されているか、 適切か、積極的に れているかなどに	協賛金を	まつりの財源とし	ている				
独	曼位性• 由自性】	В							
及び ※「前 太	が優位性・独 前橋市、高崎 5田市、みど	様事業含む)との比較 自性があれば記載 市、伊勢崎市、 の市」の状況に 能な限り記入する。	各市地域	ぱにおいて、まつり	が開催さ	れている			
【そ	の他(特	記事項)】	△ ∓⊓= 5		VO				
お< 例: i	くべき事項を	寸における補助対象	事業費 補助金	2, 500,	781円]			
A:i B:t	適切である 既ね適切て	る。(既に必要な見 であるが、改善の余		っている場合を含 。	む。)				
-		(要である。	÷Ω 3/c 6+	H (OUTOV)					
IV 令	昨年 [長	<u>フォローアップ</u> ^{紅里}	詗 直和	未(CHECK)	最終 国	四価結果に	対する目休的	」な改善内容等 ((扣坐課音目)
和			Г		AXIIICUT				
2 年度		法等の工夫・見直	U	R2評価 未実施					
V	事務事	業の改善(AC	TION ·	PLAN)					
一 包	今後の方			Í	改善点	・見直し	/(案)等		
次評		まま維持		執行方法等	事業内容	ぎを確認し	、より効率的	な事業実施を行	fってもらう。
評評価	執行万: 縮小 終了	法等の工夫・見直)	の工夫・見 直し					
_	今後の方				意	見			
二次評価)	現状の	まま維持 法等の工夫・見直	U	執行方法等 の工夫・見 直し				同種事業の近隣 いて考慮されたい	幹他市における補助額と比較しな)。
	今 悠の亡				意	見			
最終	今後の方理状の	<u>PP性</u> まま維持	Г	執行方法等		兄 「のとおり			
終評価		法等の工夫・見直		の工夫・見直し	, 131 144	_ 55 2			

		_	7) TL	9 7		(1	3 TLI &		Z /J /	٦	117.	Tilis	F 177	于大小		17 15		
1	事業	の位	置付	けと	雅								3	整理番号		84		
1事	務事業名	花見	ケ原栽	森林公園	動施設	2整備	事業						田当	部·局 課·所·室 係(担当)	黒保根	振 興 射 支所地域振 業 振		
2 予	算科目	7	款	1	項	7		6 根拠	は合等	(主なも	5の)		7 9	第六次総合計	一画での位置付	け(基本計画	i) O	
3事	業期間	昭和5	5年	年度から			年度まで	桐生市森	林公園の	設置及び	管理は	こ関する条	8	総合戦略へ	の掲載			
4事	務分類	法	定受訊	[事務	0	自治	事務						9	市長公約で	の位置付け		No	
5	県補助																	
		7.4.5				誰•	何を(対象)							態にしたいた			
		9的	花見	ケ原森林	木公園							森林を保供する。	保護する	3ともに、2	公園利用者に	自然と親	しむ場所を	:提
	广	法	0	直接第	€施	委	托·指定管	管理	補助金		貸付	đ	その	の他 ()
10	5 0,5 5	-14 - 01					た内容を							を行う事業				
** 花見ヶ原森林公園キャンプ場は昭和55年に開園。林業構造改善事業等の事業により、宿泊施設や運動場な付帯施設を整えている。標高1200mに位置し、自然観察教育林に指定された国有林内に整備されており、4月末のゴールデンウィークから9月末までの期間で森林浴やキャンプ等レクレエーション、野鳥の観察等、ボーイスカウト等の団体やファミリー層を中心に利用されている。なお、平成29年度まで5月1日だった開園日を、平成30年年度よりゴールデンウィークからに変更しました。令和2年度については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響により、6月15日より開園となった。令和2年度における来園者は、開園期間中2,227人であり、このうち1,319人の宿泊利用者にバンガロー施設やテントサイト等の貸出及び料金徴収事務、施設全般における維持管理に於いては、炊事場施設及び電源立地地域対策交付金を使い電柱施設の改修工事を行った。宿泊者数等の推移 H29 H30 R元 R2 宿泊者客数 2,377人 1,635人 2,150人 1,199人日帰り客数 1,530人 800人 1,152人 908人計 3,907人 2,435人 3,302人 2,107人												間 て						
11	業な主	勝凶谷 業務名	(2	.のよう <i>!</i>	公業を	労を付:	こころ	か。事務	労重ル多	い美務を		○以内で 業務内容	,,,					
予約	受付調整			使用	用予約	的等に関	する受	付業務				K10019 L1	IMI SC					
施設	維持管理	里業務		園	力除草	草・ 歩道	維持管	理・宿泊	白施設維:	持管理	• 水i	道施設管:	理・付	帯施設維持	管理			
場内	監視業績	务		施	设利月	月客等 彩	そ場者の!	安全管理	₹・園内(の放射網	線量記	周査等						
施設	貸出・料	4金徴収	等	施	投貸と	出管理・	施設利	用料等徵	数収業務	等								
宣伝	情報発信	=		ダ	イレク	フトメー	-ルの送	付、ポス	スターの	掲示、7	ホ −∠	ムページ	のによ	る情報発信	等			

	学未大根 (70									
1	事務事業コス	-			単位	令和元年度	(実績)	令和2年	度(実績)	令和3年度	(見込み)
			事業費(人件費除く。)		千円		4,539		6,510		14,306
			人件費		千円		5,220		6,588		6,588
	771	内	職員		人工 千円	0.35人	2,520	0.54人	3,888	0.54人	3,888
	コスト	訳	会計年度任用職員等	Ē	人工 千円	1.5人	2,700	1.5人	2,700	1.5人	2,700
			総コスト		千円	<u> </u>	9,759		13,098		20,894
		市民1	1人当たり(R3.3.31時点)		円		91		122		194
			国·県支出金		千円						10,960
			起債		千円		1,500				
	財源内訳	受益者	皆負担額(負担金、使用料、手数料	以実費)	千円		2,624		2,403		1,990
	773,11701		その他特財		千円						
			一般財源		千円		5,635		4,107		7,944
				目標値			157		157		210
		開園	(営業)日数	実績値	В		130		120		210
	江手h+比+西			達成度	%		82.8		76.4		100.0
2	活動指標			目標値							
				実績値							
				達成度	%						
				目標値	人		3,410		2,107		2,500
	成果指標	来園を		実績値	人		3,302		2,107		
2	数値化が困			達成度	%		96.8		100.0		0.0
3	難な場合はそ の理由も記			目標値	人		2,110		2,107		2,500
	載)	施設有	有償利用者数	実績値	人		2,168		1,319		
				達成度	%		102.7		62.6		0.0

Ⅲ 事業の評価(CHECK) 事務事業名 花見ヶ原森林公園施設整備事業 どのような成果と効果が得られたか、可能な限り定量的に示す。また、評価に対する説明を分かりやすく記載する。 来場者数が年4千人前後での推移であったが、異常気象による被災や悪天候により大口のキャンセルを促し В ため近年にない不況であった。 赤城山(黒檜山)登山の入口として、初心者でも登りやすい傾斜であることから、小さいお子さんから老年者まで幅広い層の登山者が訪れている。また、大沼方面から頂上へ登ったハイカーが、間違って花見ヶ原へ下がってくることも少なくなく、インフォメーションセンター的な役目も狙っている。 【有効性】 ・ 得られた成果と効果を記載 (成果指標の達成度に対する評価 施設の統合については、補助事業や起債事業で整備した施設が多くあることから、これらの施設の整理を進めながら、統合の検討についても進めていきたい。 及び過去との比較検討も含めて А 【効率性】 施設修繕費用の財源に補助率の高い電源立地地域対策交付金や交付税措置の手厚い過疎債を利用しながら・ 般財源の持ち出しを抑え実施している。指定管理制度の導入についても協議検討を進めたい。 費用対効果の面から記載 【必要性】 А 昭和55年の開園から35年以上が経過しており、管理棟をはじめバンガロー等も老朽化が進み、補修費が増 加傾向にあることや、同様な施設である利平茶屋森林公園とのあり方や経営方針など検討する必要がある。 事業を継続することの意義、 特に利平茶屋森林公園との役割分担については、バンガロー施設利用を中心とした宿泊客に対応した施設の 見込み数の変動等を記載 充実を行い、新たに客層の呼び込みのために一層の整備等の調査研究が求められる。 (事業の将来への見通し及び 事業推進に当たっての課題等) 【公平性・ 透明性】 近隣の同様な施設と比較しても、概ね適正な価格帯であると思わえる。 公平性が確保されているか、 情報は、主に市HPで公開しており、施設の利用状況等についてすぐに反映できるよう失している。 受益者負担は適切か、積極的に情報公開がされているかなどに また、無料掲載誌にも掲載している。 ついて記載 【優位性・ 近隣のキャンプ施設の多くは、指定管理者制度を導入し、通年での営業を行っている。 また、近年のキャンプブームで民間企業も多く参入している 独自性】 みどり市にある3個所のキャンプ場は、指定管理者制度を導入しており、どれも地元住民で組織した団体に 他の自治体(同様事業含む)との比較 より運営されている。 及び優位性・独自性があれば記載 キャンプブームによりテントサイトの需要が増加傾向にあり、敷地面積の大きい花見ヶ原森林公園ではテントサイトも広く、また、運動場等を活用すれば、多くの需要にこたえられる。地域おこし協力隊と協力し、 ※「前橋市、高崎市、伊勢崎市、 トサイトも広く、 みどり市」の状況に ついては、可能な限り記入する。 魅力あるイベント等開催することで新たな客層の発掘にもつながると思われる。 【その他(特記事項)】 ※書面審査を行う上で、説明して おくべき事項を記載 例:補助金の交付における補助対象 事業の総事業費など A:適切である。(既に必要な見直しを行っている場合を含む。) B: 概ね適切であるが、改善の余地はある。 C:見直しが必要である。 昨年度フォローアップ調査結果(CHECK) 最終評価結果 最終評価結果に対する具体的な改善内容等(担当課意見) 和 民間活力の導入による経費縮減を目指し、指定管理者導入に向けて準備を進め 現状のまま維持 執行方法等 ている。なお、令和3年度に指定管理者の募集を行い、令和4年度に指定管理者 執行方法等の工夫・見直し の工夫・見 による管理を開始予定。 年 縮小 直し 終了 事務事業の改善(ACTION・PLAN) 改善点・見直し(案)等 今後の方向性 担 民間活力の導入による経費縮減を目指し、指定管理者導入に向けて準備を進め ている。なお、令和3年度にサウンディング型市場調査を実施し指定管理者制度 の導入検討を行うさらに、令和5年度に指定管理者による管理運営を目指す。 次課 執行方法等 現状のまま維持 執行方法等の工夫・見直し の工夫・見 縮小 直し 終了 今後の方向性 令和3年度に実施するサウンディング型市場調査の結果や当該施設に係る耐用年 現状のまま維持 執行方法等 数及び立地環境などを考慮し、施設の在り方や費用対効果を改めて検討した上 執行方法等の工夫・見直し 評評 の工夫・見 で、民間活力の導入の検討を始められたい。 縮小 直し 終了 今後の方向性 次評価のとおり 現状のまま維持 執行方法等

執行方法等の工夫・見直し

縮小

終了

の工夫・見

直し

1	事業の	0位置付	けと概義	Ē.						3	整理番号		85	
1 事務	事業名	利平茶屋	森林公園旅	設管理	事業					担当	部·局 課·所·室 係(担当)	黒保根	振 興 整 備 支所地域振興整 養 振 興	
2 予算	章科目	7 款	1 項	8		6 根拠法令	等(主な:	もの)		7 9	第六次総合	計画での位置付け	ナ(基本計画)	0
3 事	業期間	昭和63	年度から		年度まで	桐生市森林公	園の設置及び	び管理は	こ関する条例	8 ;	総合戦略	への掲載		
4 事	络分類	法定受	托事務 C	自治	事務					9 1	市長公約	での位置付け	N	0
5 国	県補助													
				誰	何を(対象)						伏態にしたいか	******	
	目的	利平	茶屋森林公	:園					森林を保護 提供する。	する	らとともに	、公園利用者は	こ自然と親しる	む場所を
	方法	Z O	直接実施	委	託·指定管	管理 補助	力金	貸付	đ	その	0他 ()
事業概要	本利に標林平令 出宿宿東日 業業は1か22和び者者者の計 は屋、0パ9年2料数客客客	、森赤山の丘山で 、森赤山の一年度度 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	整森林公園年 は昭和610 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 1	川用者に 川田園の が 大観のの 大観が 大関の 大観が 大関の 大記で 大記で 大記で 1,185 1,085 3,098 5,368	自県現等ノヨイ間番の人人人人然費をに一、ス中持に、ス中持に、ストリーの人人人人の場合では、124	賑わいを見t 定された写え 成30年度。 313人で大防」 313人でいてに 313人でいてに 313人でいてに 313人でいてに 313人でいてに 313人でいてに 313人でいてに 313人でいてに 313人では 313人で 313 313 313 313 313 313 313 313 313 31	、 に は に は に は に は に は に は に は に は に は の に は の に の に の の の の の の の の の の の の の	役がが増えずめち施り出す。 (44)	ドーベキュー 持の開発の いた ミリータを シィー15日 6月1人の宿 141人 及び東屋施	- 施部・からよ泊設・一部が - からよ泊設・一郎にり利のの	はなど付帯 今も残る いデンカー に利し、 で 見 関 し に が に が に が に が に う に う に う に う に う に う	施設を整えてい 貴重な観光資源 ィークから10 っている。 った。 ンガロー施設や	である。 月末までの期	
11	11 主な業務内容 (どのような業務を行っているか。事務量が多い業務を5つ以内で記載) 業務名 業務名													
予約	受付調整對	~ _	使用う	ろ約等に関	引する受	 付業務				<u> </u>				
施設	維持管理業	業務	園内院	\$草·歩道	直整備 •	バーベキュー	-施設管理	•宿涯	白施設維持領	管理	• 水道施記	设管理・付帯施	設維持管理	
場内	監視業務		施設和	川用者等系	ド場者の と場るの	安全管理• 🛭	園内の放射	線量記	周査等					
施設	賞出・料金	金徴収等	施設質	3出管理	施設利	用料等徴収業	業務等							
宣伝	青報発信		ダイレ	/クトメ-	-ルの送	付・ポスタ-	-の掲示・	ホーム	ムページに	よる	青報発信等	争		

	学未大根 (UU /									
1 事務事業コスト					単位	令和元年度(実績) 令和2年度(実績		度(実績)	令和3年度(見込み)		
	コスト	事業費(人件費除く。)		千円		5,762		4,794		2,543	
		人件費		千円		5,220	6,588		6,588		
		内訳	職員		人工 千円	0.35人	2,520	0.54人	3,888	0.54人	3,888
			会計年度任用職員等	j F	人工 千円	1.5人	2,700	1.5人	2,700	1.5人	2,700
			総コスト		千円	<u>.</u>	10,982	·	11,382		9,131
		市民1人当たり(R3.3.31時点)		円		102		106		85	
	財源内訳	国·県支出金		千円							
		起債		千円		4,300					
		受益者負担額(負担金、使用料、手数料、実費)		千円		2,461		2,427		1,887	
		その他特財		千円							
		一般財源			千円	4,221		8,955		7,244	
2	活動指標	開園(営業)日数目標値 実績値 達成度			188 150		210				
				\Box	188		150	0 210			
				%	100.0		100.0		100.0		
		目標値 実績値 達成度									
				%							
3	成果指標 (数値化が困 難な場合はそ の理由も記 載)	来園者数目標値 実績値達成度		人	5,200		1,813		2,000		
				人	4,905		1,813				
				%		94.3		100.0		0.0	
		施設有償利用者数目標値 実績値達成度		人	2,600		1,813		2,000		
				人		2,368		1,441			
				%		91.1		79.5		0.0	

Ⅲ 事業の評価(CHECK) 事務事業名 利平茶屋森林公園施設管理事業 どのような成果と効果が得られたか、可能な限り定量的に示す。また、評価に対する説明を分かりやすく記載する。 【有効性】 В 近年の異常気象による集中豪雨や大型台風の接近などが増加し、それによる伴うキャンセルの件数も多くな り、主力のバーベキュー施設利用数も減少している。 また、自然を楽しみに園内散策に来るハイカー等も減少している。 ・ 得られた成果と効果を記載 施設の統合については、補助事業や起債事業で整備した施設が多くあることから、これらの施設の整理を進 (成果指標の達成度に対する評価 めながら、統合の検討についても進めていきたい。 及び過去との比較検討も含めて) А 【効率性】 施設修繕費用の財源に補助率の高い電源立地地域対策交付金や交付税措置の手厚い過疎債を利用しながら 般財源の持ち出しを抑え実施している。今後も施設の老朽化によって修繕費がかさむ傾向にあるが、日帰り 施設への転換により修繕費の圧縮が可能であることから、現在の宿泊施設は必要最小限の修繕により耐用年 数到達まで利用し、その後段階的に廃止する。花見ヶ原森林公園と同様に指定管理者制度の導入についても 費用対効果の面から記載 協議検討を進める。 А 【必要性】 昭和63年の開園から30年以上が経過しており、東屋をはじめバンガロー等も老朽化が進み、補修費が増加 傾向にあることや、同様な施設である花見ヶ原森林公園とのあり方や経営方法 などを検討する必要がある。特に花見ヶ原森林公園との役割分担については、バーベキュー施設利用を中心 事業を継続することの意義、 見込み数の変動等を記載 とした日帰り客に対応した施設の充実を行い、宿泊施設の縮減に取り組む等思い切った政策をとる段階に来 (事業の将来への見通し及び ている。 事業推進に当たっての課題等) 【公平性・ 透明性】 近隣の同様な施設と比較しても、概ね適正な価格帯であると思わえる。 公平性が確保されているか、 情報は、主に市HPで公開しており、施設の利用状況等についてすぐに反映できるよう失している。 受益者負担は適切か、積極的に情報公開がされているかなどに また、無料掲載誌にも掲載している。 ついて記載 【優位性・ 近隣のキャンプ施設の多くは、指定管理者制度を導入し、通年での営業を行っている。 Α 独自性】 近年のキャンプブームで民間企業も多く参入している。 みどり市にある3個所のキャンプ場は、指定管理者制度を導入しており、どれも地元住民で組織した団体に 他の自治体(同様事業含む)との比較 及び優位性・独自性があれば記載 より運営されている。 ※「前橋市、高崎市、伊勢崎市、 地域おこし協力隊と協力し、魅力あるイベント等開催することで新たな客層の発掘にもつながると思われ みどり市」の状況に ついては、可能な限り記入する。 【その他(特記事項)】 ※書面審査を行う上で、説明して おくべき事項を記載 例:補助金の交付における補助対象 事業の総事業費など A:適切である。(既に必要な見直しを行っている場合を含む。) B: 概ね適切であるが、改善の余地はある。 C:見直しが必要である。 昨年度フォローアップ調査結果(CHECK) IV 最終評価結果 最終評価結果に対する具体的な改善内容等(担当課意見) 和 花見ヶ原森林公園の指定管理状況を確認しながら、指定管理者制度導入を検討 現状のまま維持 執行方法等 するとともに施設の差別化についても検討する 執行方法等の工夫・見直し の工夫・見 年 縮小 直し 終了

V 事務事業の改善(ACTION・PLAN)

一次評価担当課評価

■ 執行方法等 の工夫・見 民間活力の導入による経費縮減を目指し、指定管理者導入に向けて準備を進め ている。なお、令和3年度にサウンディング型市場調査を実施し指定管理者制度 の導入検討を行うさらに、令和5年度に指定管理者による管理運営を目指す。

内 今後(

今後の方向性

縮小

終了

終了

今後の方向性

現状のまま維持

意 見

改善点・見直し(案)等

現状のまま維持 執行方法等の工夫・見直し 縮小

執行方法等の工夫・見直し

|執行方法等 |の工夫・見 | 直し

直し

令和3年度に実施するサウンディング型市場調査の結果や当該施設に係る耐用年数及び立地環境などを考慮し、施設の在り方や費用対効果を改めて検討した上で、民間活力の導入の検討を始められたい。

最終評

評評

今後の方向性

息 兌

現状のまま維持 執行方法等の工夫・見直し 縮小 終了 執行方法等 の工夫・見 直し

二次評価のとおり